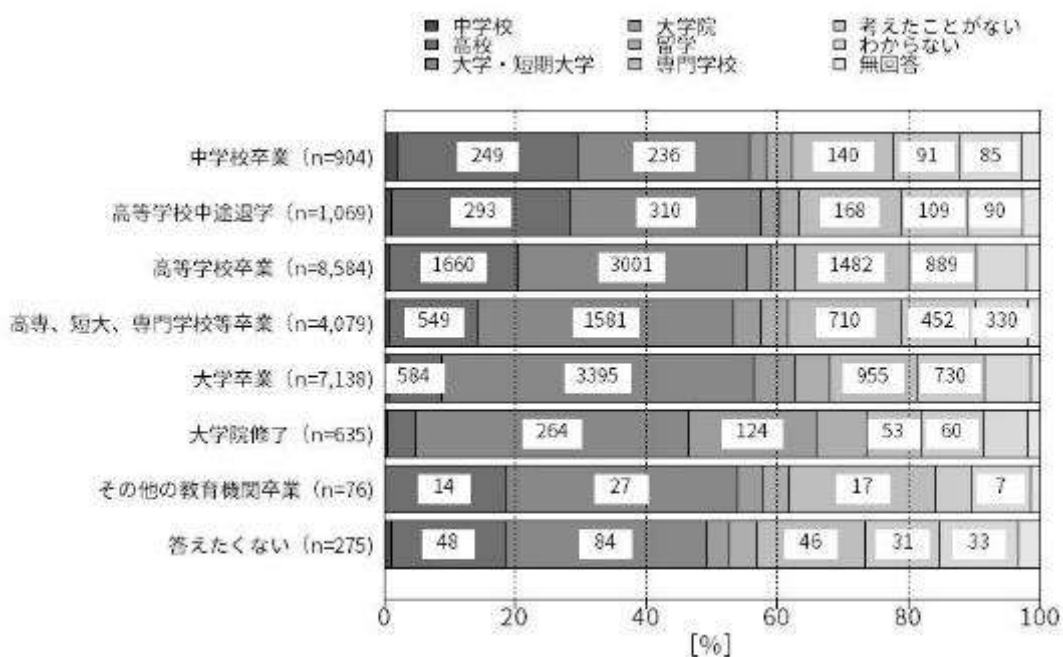


父親の最終学歴別に見た、希望する進学先（保護者票 問 8 × 子ども票 問 27）

<大阪市 24 区>



<大阪市旭区>

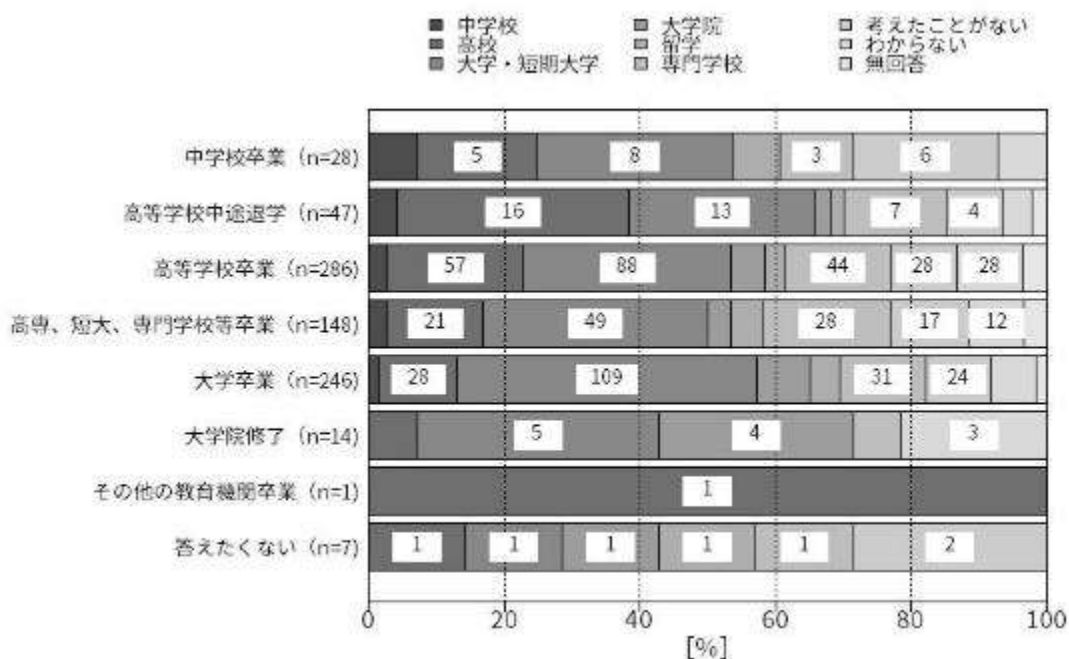
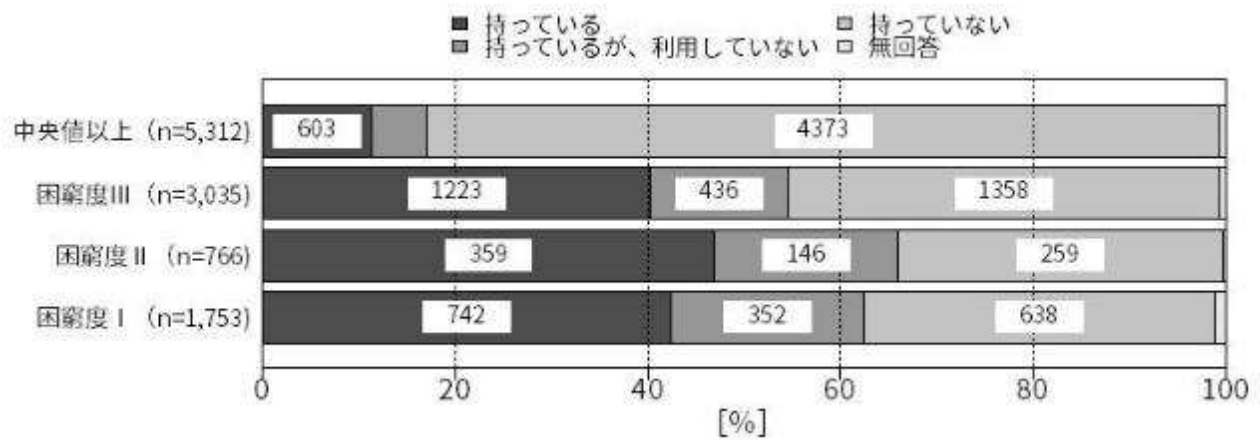


図 214. 父親の最終学歴別に見た、希望する進学先

父親の最終学歴別に子どもの希望する進学先を見ると、父親が中卒または高校中退者では、「中学校」または「高校」までと回答した子どもの割合が高くなっている傾向にあった。

困窮度別に見た、塾代助成カードの所持状況（保護者票 問 18）

<大阪市 24 区>



<大阪市旭区>

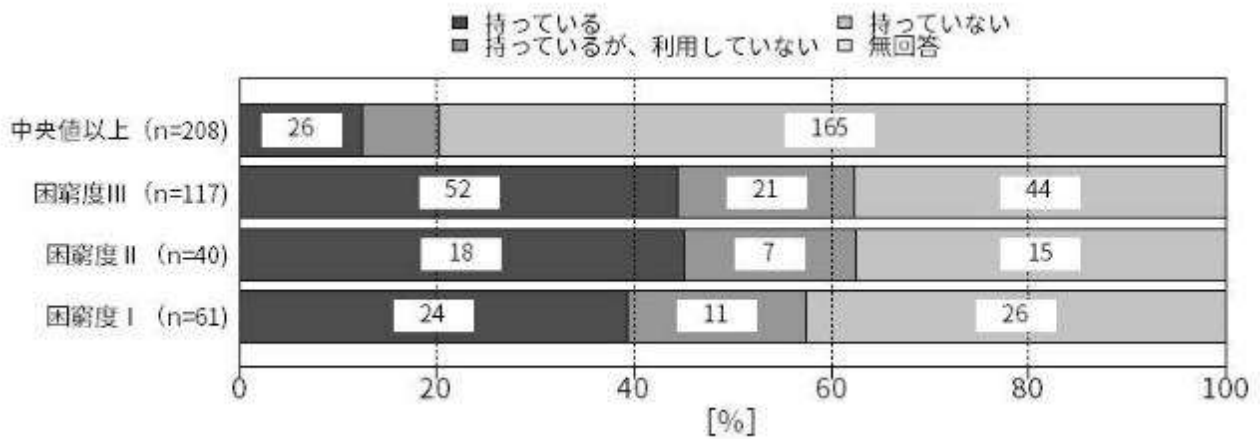
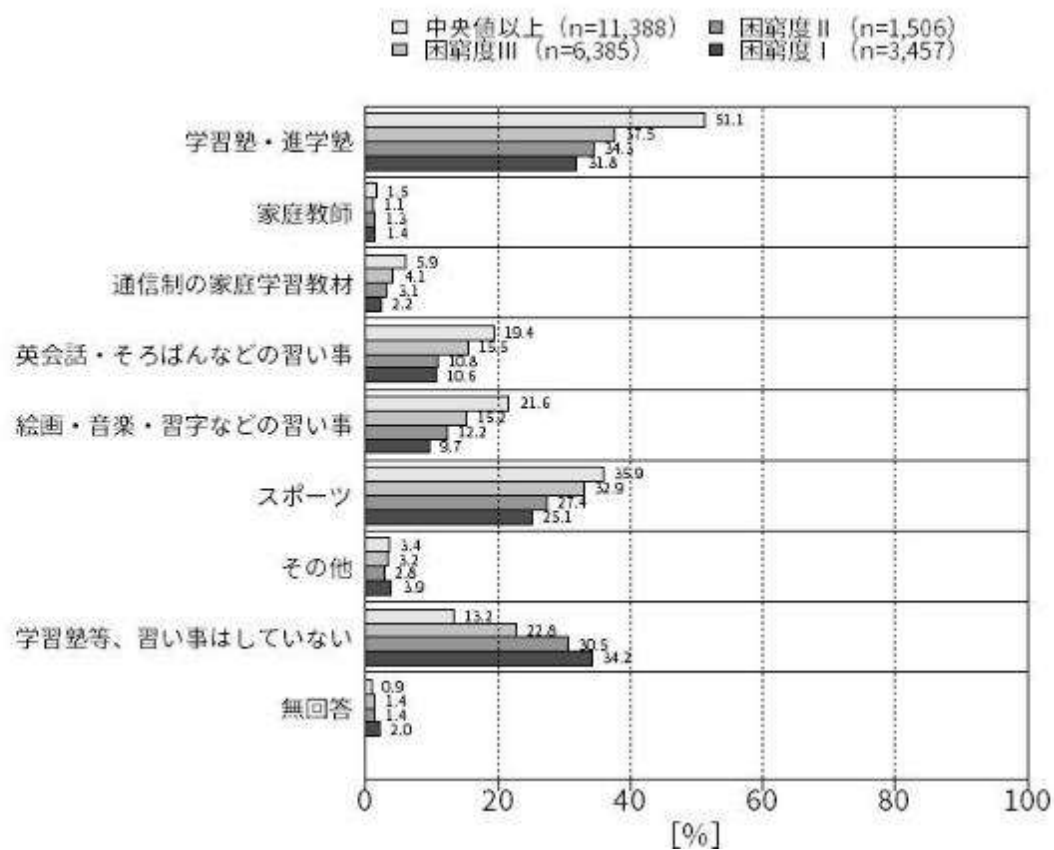


図 215. 困窮度別に見た、塾代助成カードの所持状況

困窮度Ⅰ群では、塾代助成カードを「持っている」が 39.3%であったのに対し、困窮度Ⅱ群では 45.0%、困窮度Ⅲ群では 44.4%であった。

困窮度別に見た、学習塾等の利用状況（子ども票 問 15）

<大阪市 24 区>



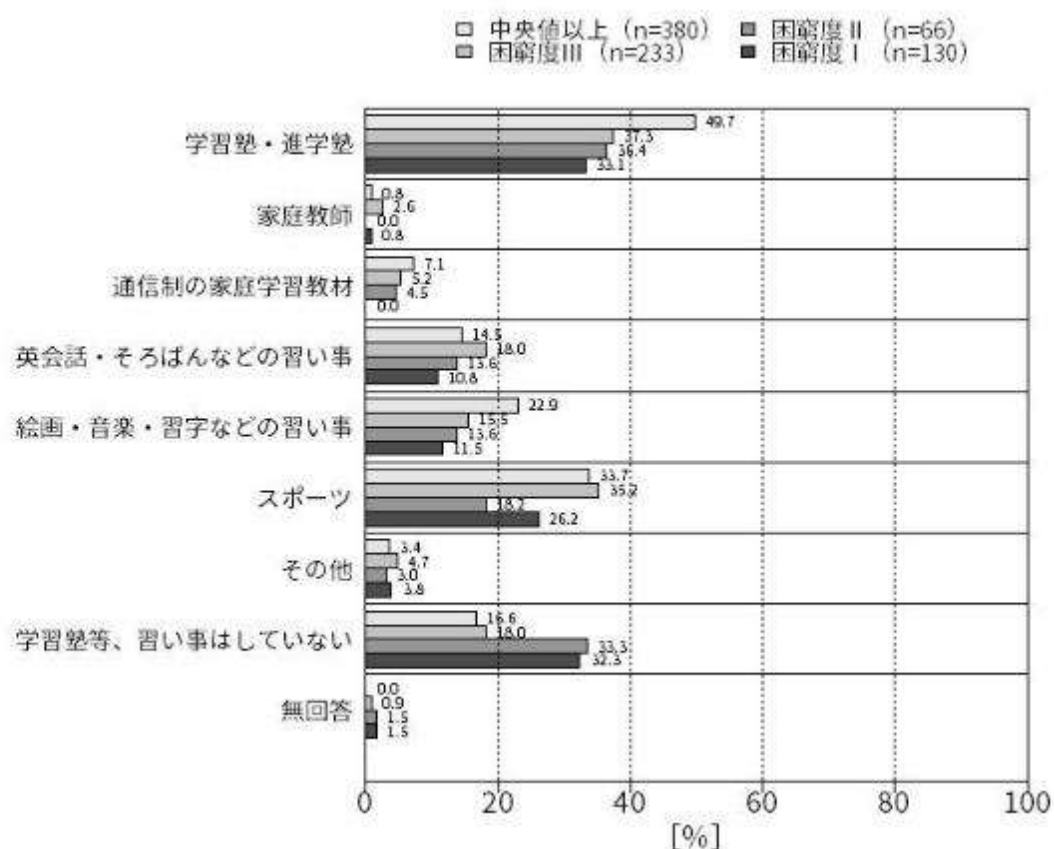
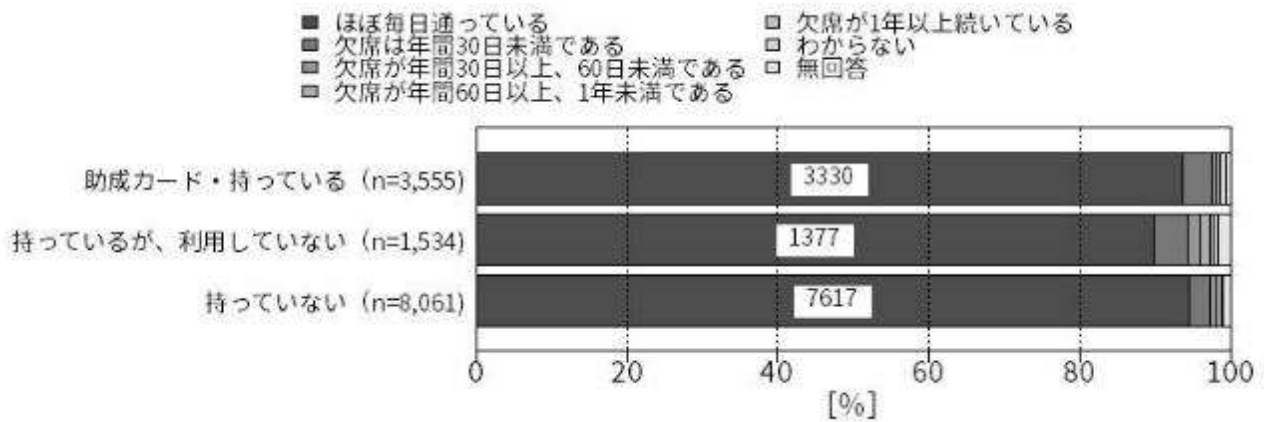


図 216. 困窮度別に見た、学習塾等の利用状況

困窮度Ⅰ群では、「学習塾・進学塾」に通っていると回答した割合が33.1%で、困窮度Ⅱ群では36.4%、困窮度Ⅲ群では37.3%であった。

<大阪市 24 区>



<大阪市旭区>

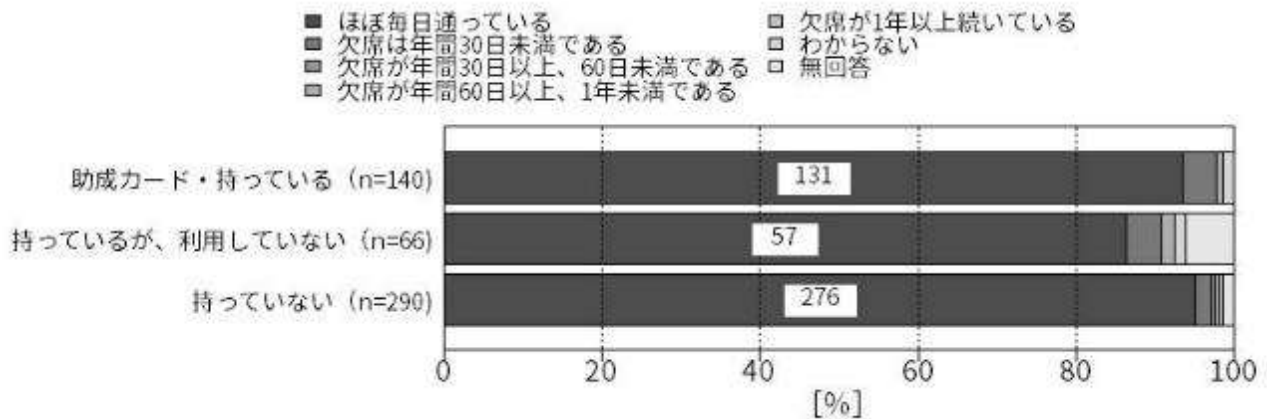
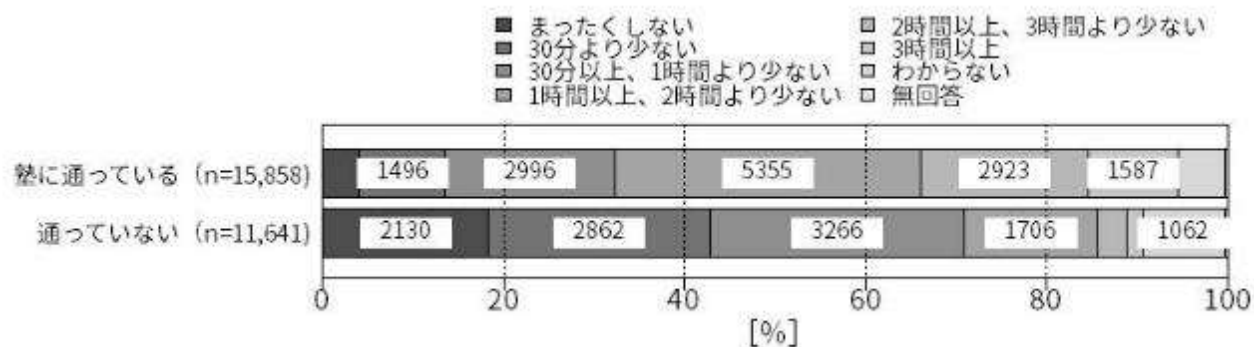


図 217. 塾代助成カードの所持状況別に見た、通学状況

塾助成カードを持っていない人は、子どもが学校に「ほぼ毎日通っている」と回答した割合が 95.2%であったのに対し、持っているが利用していない人が 86.4%、持っている人が 93.6%であった。

学習塾等の利用状況別に見た、授業以外の勉強時間（子ども票 問 15 × 子ども票 問 14）

<大阪市 24 区>



<大阪市旭区>

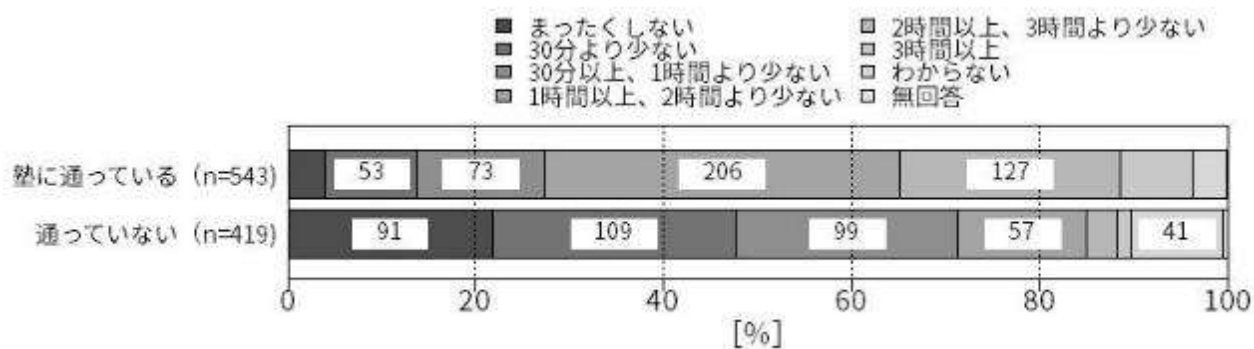
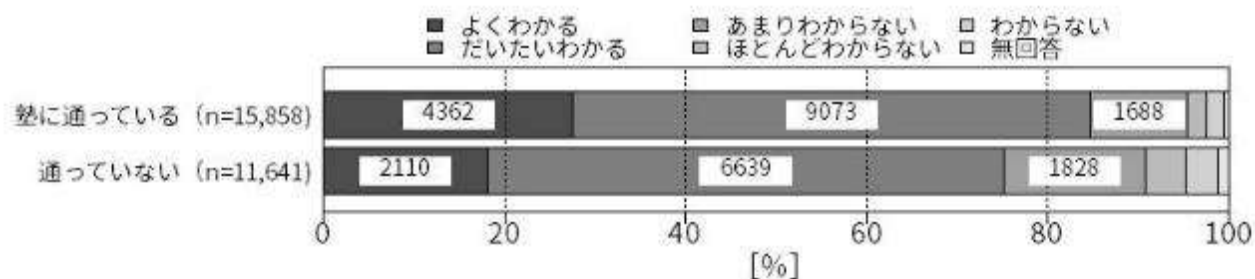


図 218. 学習塾等の利用状況別に見た、授業以外の勉強時間

勉強を中心とした塾に通っていない人は、授業時間以外に勉強を「まったくしない」が 21.7%であったのに対し、塾に通っている人は 4.1%であった。

<大阪市 24 区>



<大阪市旭区>

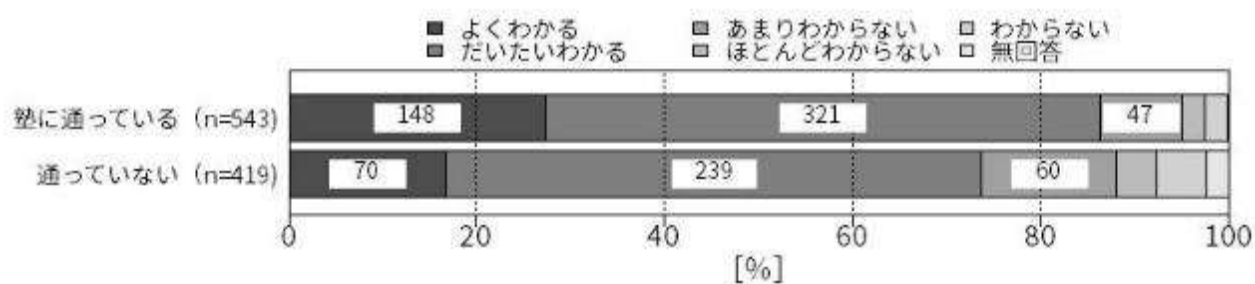
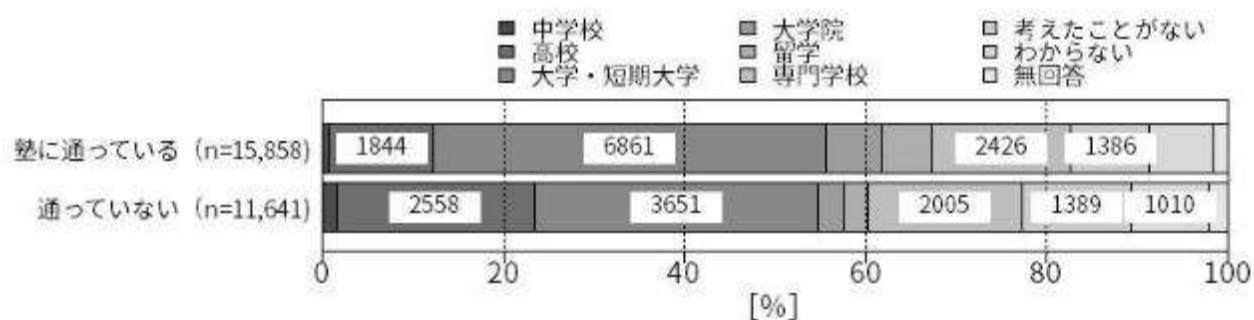


図 219. 学習塾等の利用状況別に見た、学習理解度

勉強を中心とした塾に通っていない人は、学校の勉強が「よくわかる」と答えた割合が 16.7%であったのに対し、塾に通っている人は 27.3%であった。

学習塾等の利用状況別に見た、希望する進学先（子ども票 問 15 × 子ども票 問 27）

<大阪市 24 区>



<大阪市旭区>

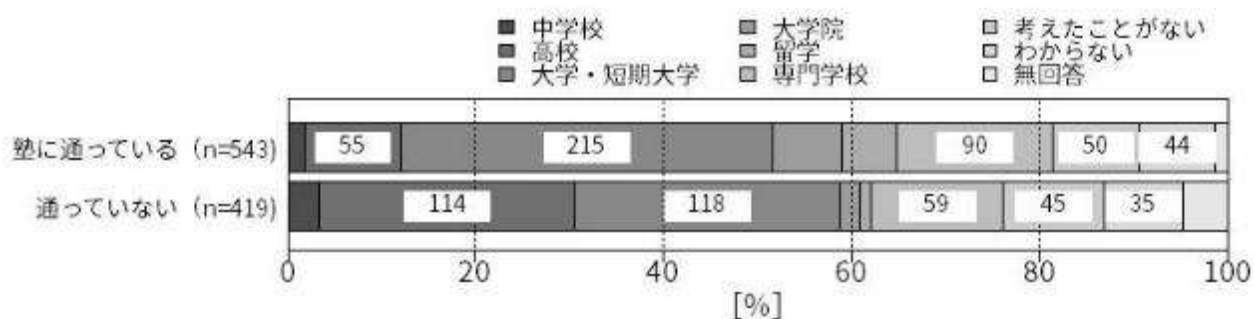


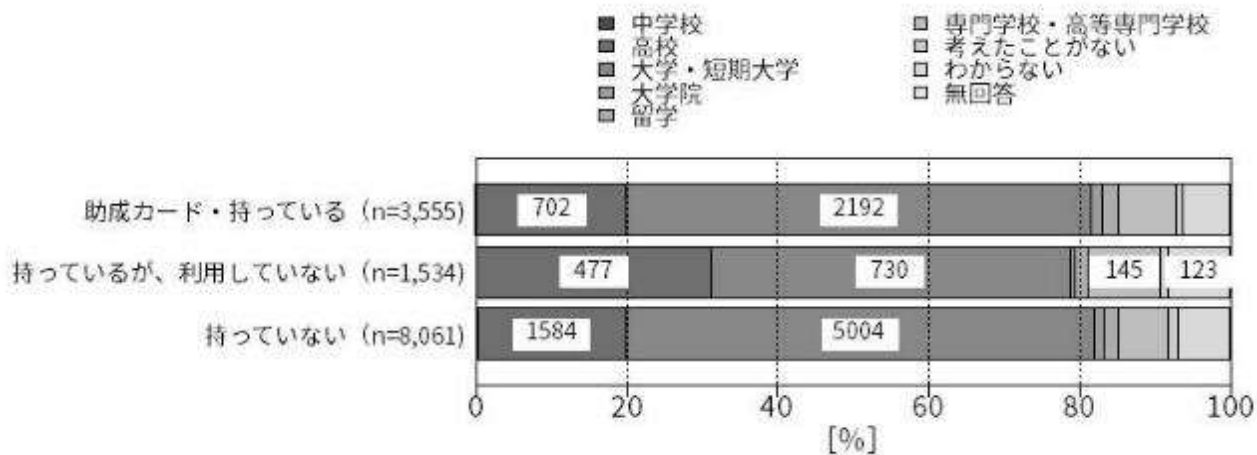
図 220. 学習塾等の利用状況別に見た、希望する進学先

勉強を中心とした塾に通っていない人は、「大学・短期大学」まで行きたいと答えた割合が 28.2%であったのに対し、塾に通っている人は 39.6%であった。

塾代助成カードの所持状況別に見た、希望する進学先

(保護者票 問 18 × 保護者票 問 15)

<大阪市 24 区>



<大阪市旭区>

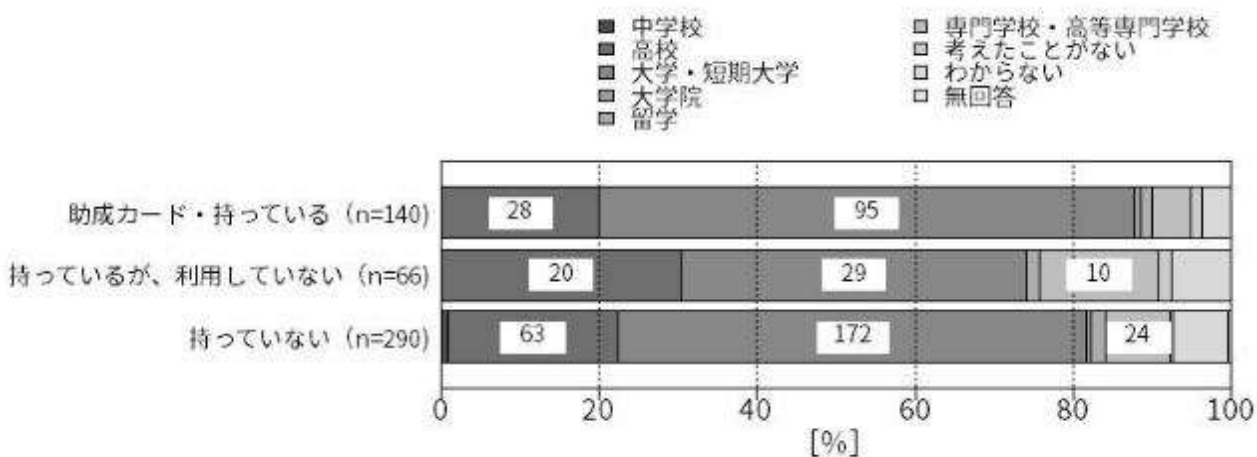


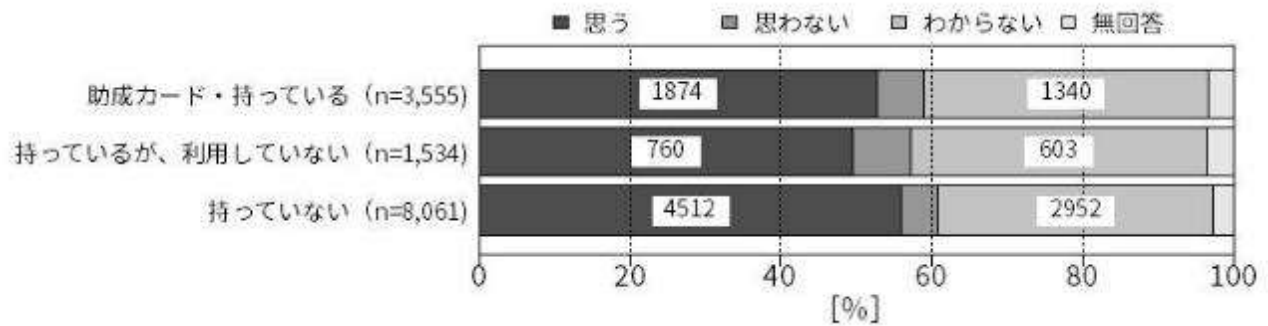
図 221. 塾代助成カードの所持状況別に見た、希望する進学先

塾助成カードを持っていない人は、子どもの進学先について「大学・短期大学」まで希望すると回答した割合が 59.3%であったのに対し、持っているが利用していない人が 43.9%、持っている人が 67.9%であった。

塾代助成カードの所持状況別に見た、子どもの進学達成予測

(保護者票 問 18 × 保護者票 問 16)

<大阪市 24 区>



<大阪市旭区>

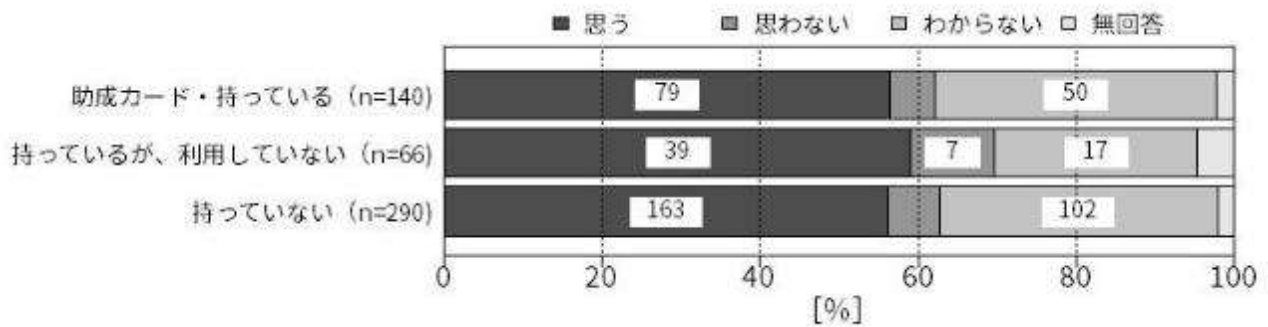
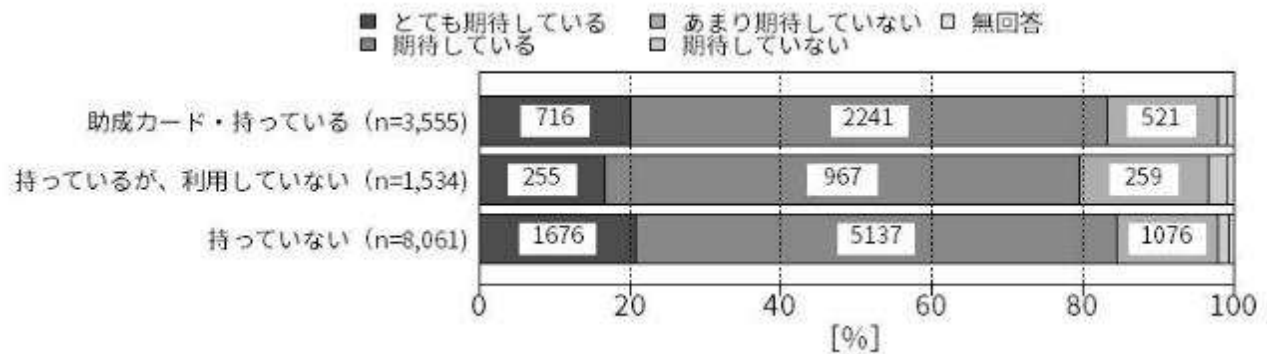


図 222. 塾代助成カードの所持状況別に見た、子どもの進学達成予測

塾助成カードを持っていない人は、子どもが希望どおりの学校まで進むと思うと回答した割合が 56.2%であったのに対し、持っているが利用していない人が 59.1%、持っている人が 56.4%であった。

塾代助成カードの所持状況別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもへの将来の期待）
（保護者票 問 18 × 保護者票 問 14(4)）

<大阪市 24 区>



<大阪市旭区>

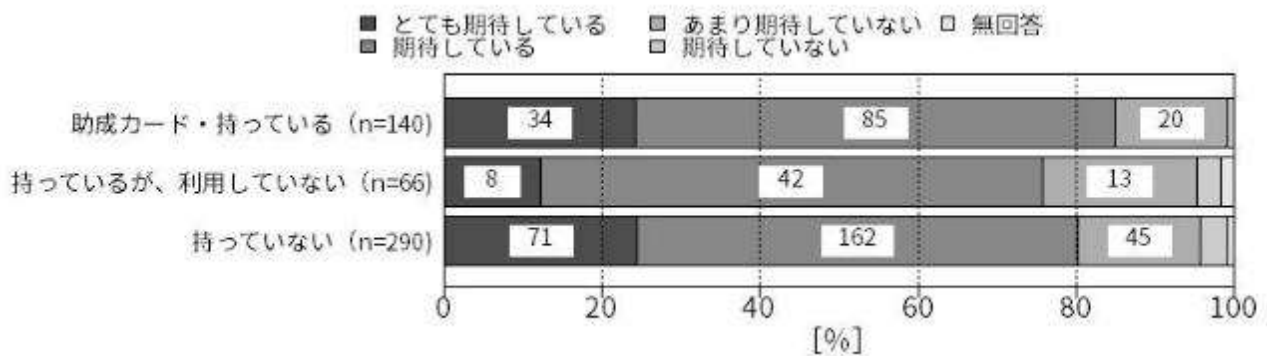


図 223. 塾代助成カードの所持状況別に見た、保護者と子どもの関わり
（子どもへの将来の期待）

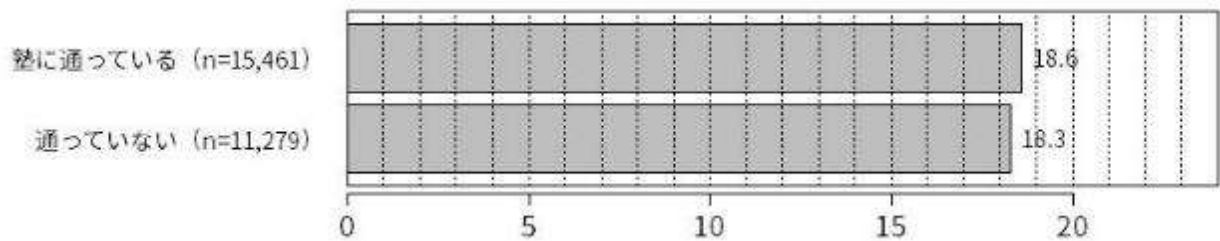
塾助成カードを持っていない人は、子どもの将来を「とても期待している」と回答した割合が 24.5%であったのに対し、持っているが利用していない人が 12.1%、持っている人が 24.3%であった。

学習塾等の利用状況別に見た、子どものセルフ・エフィカシー

(子ども票 問 15 × 子ども票 問 26(1)～(6))

※子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）については図 148 上の説明参照。

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市旭区＞

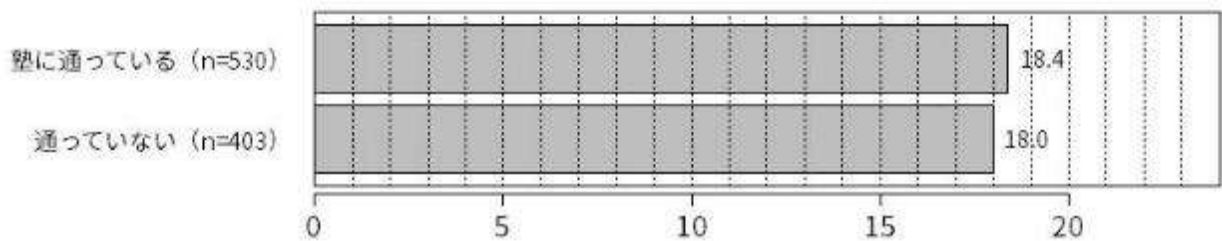
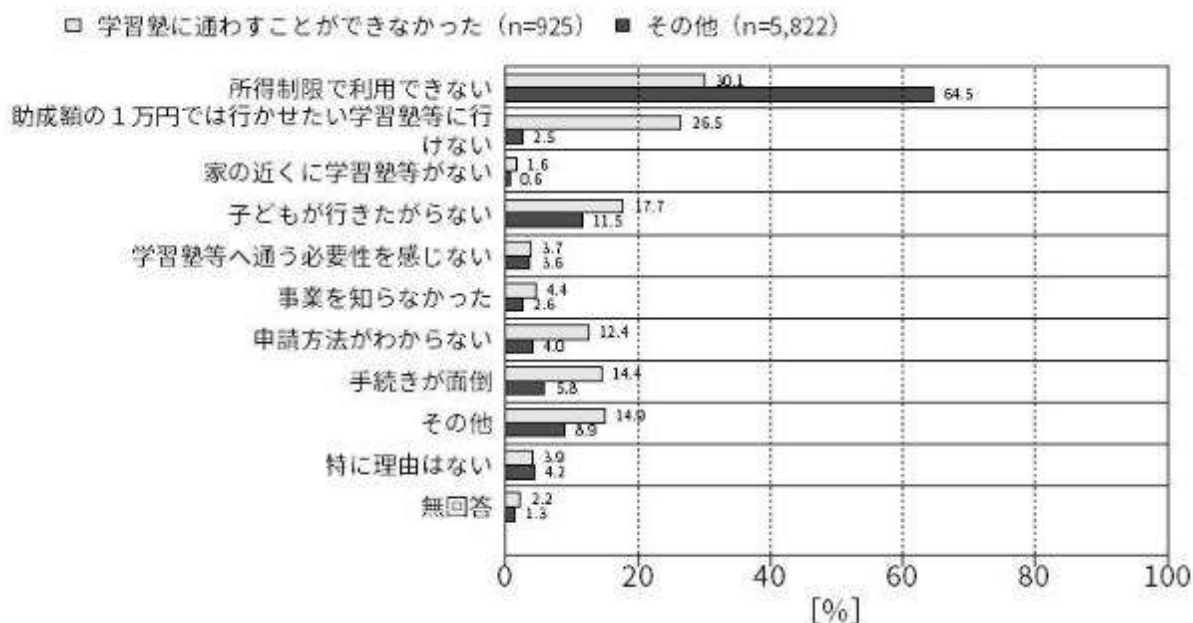


図 224. 学習塾等の利用状況別に見た、子どものセルフ・エフィカシー

勉強を中心とした塾に通っていない人は、自己効力感（セルフ・エフィカシー）の平均点が 18.0 点であったのに対し、塾に通っている人は 18.4 点であった。

経済的な理由で学習塾に通わすことができなかったかどうかと、塾代助成カードを持っている理由
(保護者票 問 13 の 9 × 保護者票 問 20)

<大阪市 24 区>



<大阪市旭区>

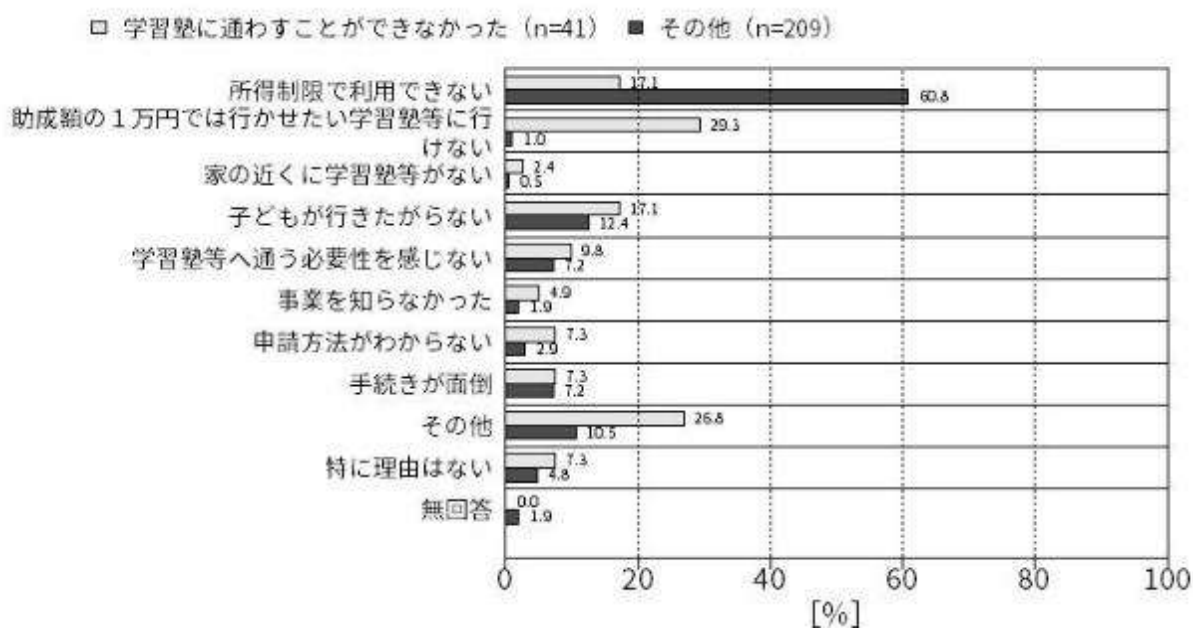
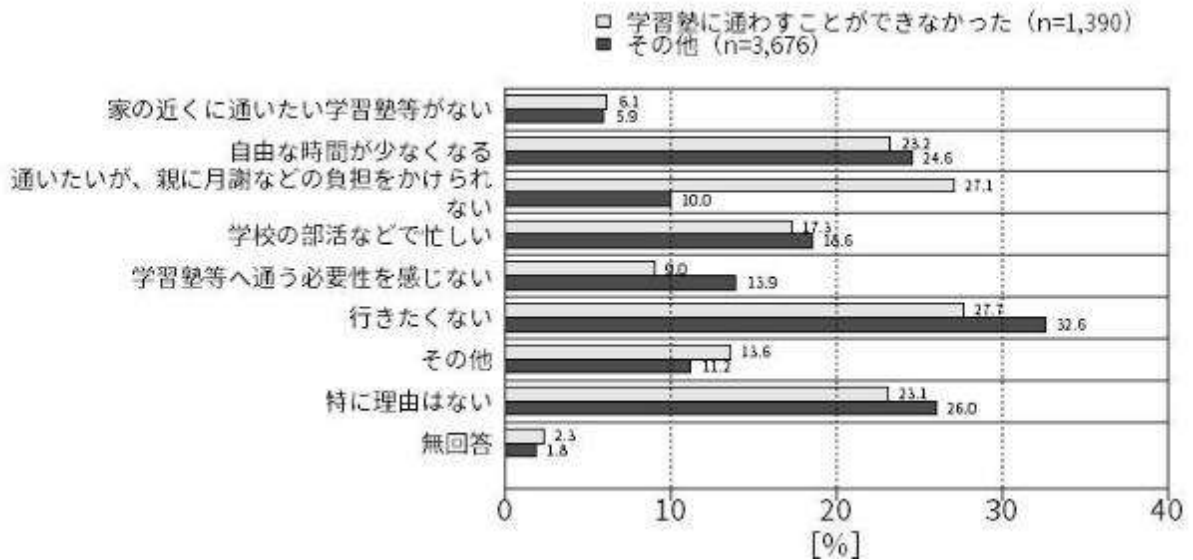


図 225. 経済的な理由で学習塾に通わすことができなかったかどうかと、塾代助成カードを持っている理由

塾へ通わせられなかった人は、「助成額の1万円では行かせたい学習塾等に行けない」という理由で塾代助成カードを持っていない人が29.3%と最も多かった。

経済的な理由で学習塾に通わすことができなかったかどうかと、学習塾等に通っていない理由（保護者票 問13の9 × 子ども票 問17）

<大阪市24区>



<大阪市旭区>

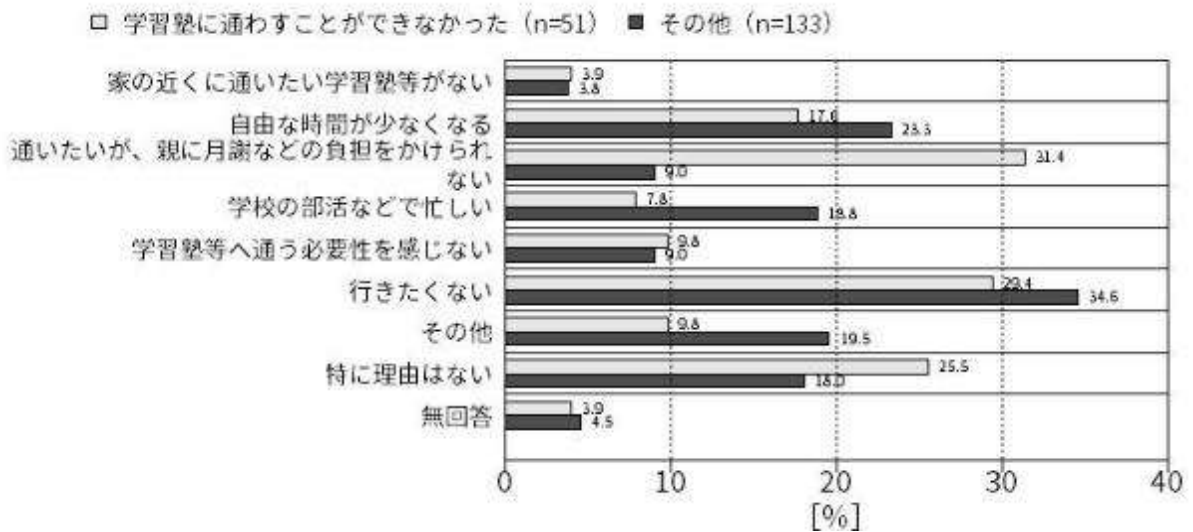


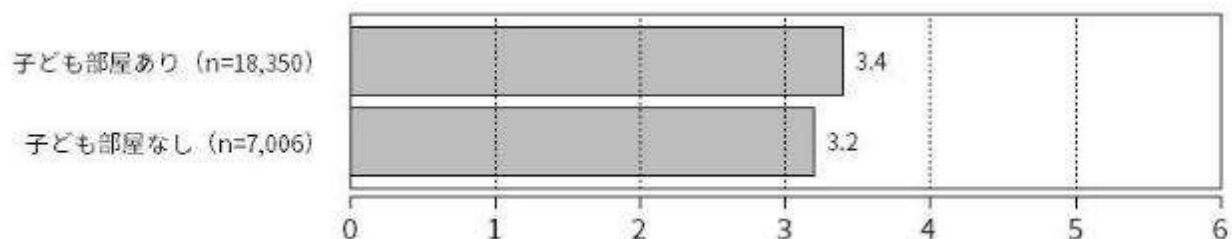
図 226. 経済的な理由で学習塾に通わすことができなかったかどうかと、学習塾等に通っていない理由

塾へ通わせられなかった人は、「通いたい、親に月謝などの負担をかけられない」という理由が31.4%と最も多かった。

子ども部屋の有無別に見た、勉強時間の平均値（子ども票 問 25 の 3 × 子ども票 問 14）

※勉強時間について、「1. まったくしない」「2. 30 分より少ない」「3. 30 分以上、1 時間より少ない」「4. 1 時間以上、2 時間より少ない」「5. 2 時間以上、3 時間より少ない」「6. 3 時間以上」の 6 つの時間枠からひとつを選択させた（「7. わからない」は除く）。項目番号を勉強時間の得点とみなし、得点が高いほど、勉強時間が長いことを表す。

<大阪市 24 区>



<大阪市旭区>

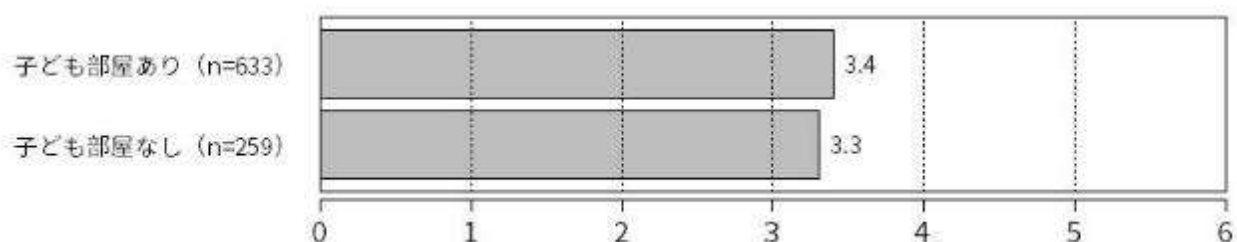
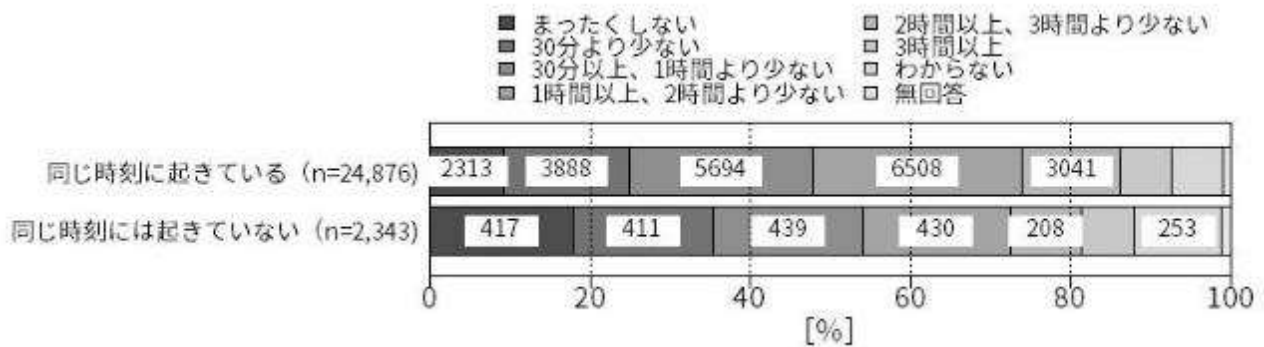


図 227. 子ども部屋の有無別に見た、勉強時間の平均値

子ども部屋がある場合は 3.4 時間、子ども部屋がない場合は 3.3 時間であった。

起床時間の規則性別に見た、授業以外の勉強時間（子ども票 問2 × 子ども票 問14）

<大阪市24区>



<大阪市旭区>

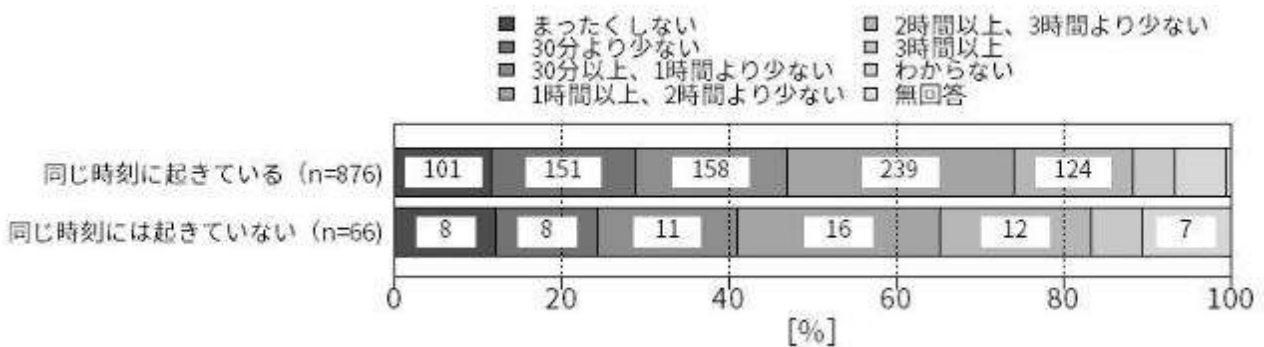
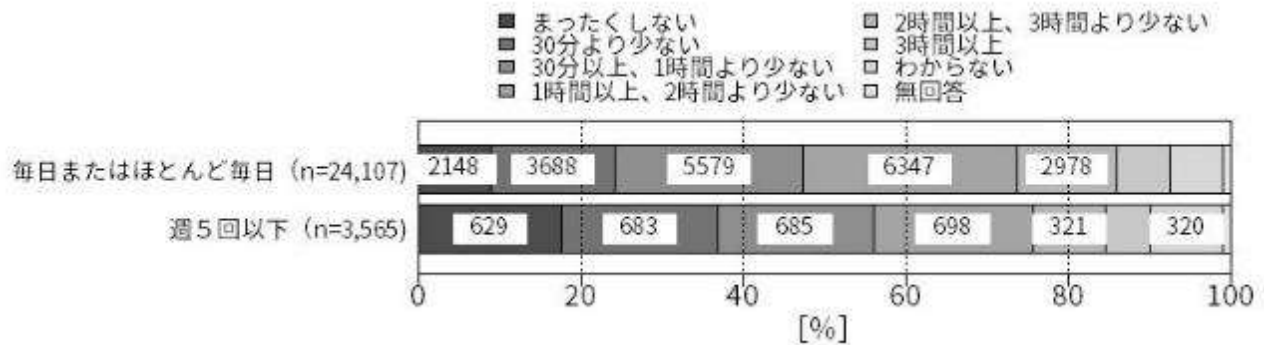


図 228. 起床時間の規則性別に見た、授業以外の勉強時間

ここでは、子ども票問2において「起きている」「どちらかと言えば、起きている」と回答した子どもを「同じ時刻に起きている」、「あまり、起きていない」「起きていない」と回答した子どもを「同じ時刻には起きていない」としている。起床時間の規則性別に授業以外の勉強時間を見ると、「同じ時刻に起きている」子どもの方が、「30分以上、1時間より少ない」、「1時間以上、2時間より少ない」、「2時間以上、3時間より少ない」と回答した人の割合が高い。「同じ時刻には起きていない」子どもでは、「まったくしない」と回答した人は12.1%となっている。

朝食の頻度別に見た、授業以外の勉強時間（子ども票 問 5(1) × 子ども票 問 14)

<大阪市 24 区>



<大阪市旭区>

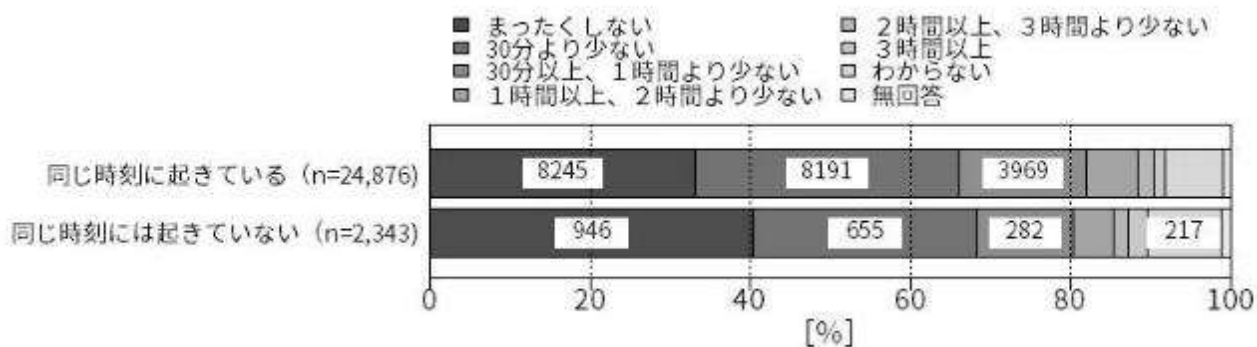


図 229. 朝食の頻度別に見た、授業以外の勉強時間

ここでは、子ども票問 5 において「毎日またはほとんど毎日」と回答した子どもを「毎日またはほとんど毎日」朝食をとる、それ以外を選択した子ども（無回答除く）を「週 5 回以下」としている。朝食の頻度別に授業以外の勉強時間を見ると、「毎日またはほとんど毎日」朝食をとる子どもでは、「まったくしない」と回答したのは 16.4%であった。また、同じく「毎日またはほとんど毎日」朝食をとる子どもでは、「30 分以上、1 時間より少ない」「1 時間以上、2 時間より少ない」「2 時間以上、3 時間より少ない」と回答した子どもはそれぞれ 18.3%、29.1%、15.1%であった。

起床時間の規則性別に見た、授業以外の読書時間（子ども票 問2 × 子ども票 問19）

<大阪市24区>



<大阪市旭区>

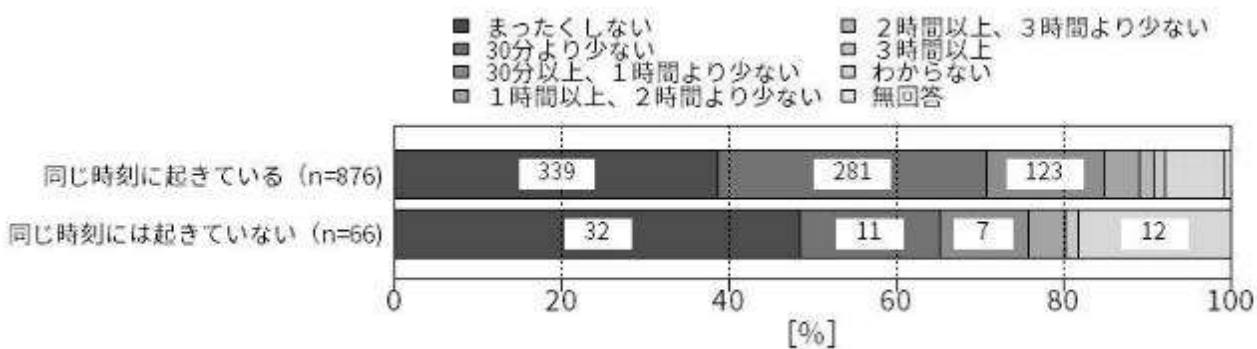
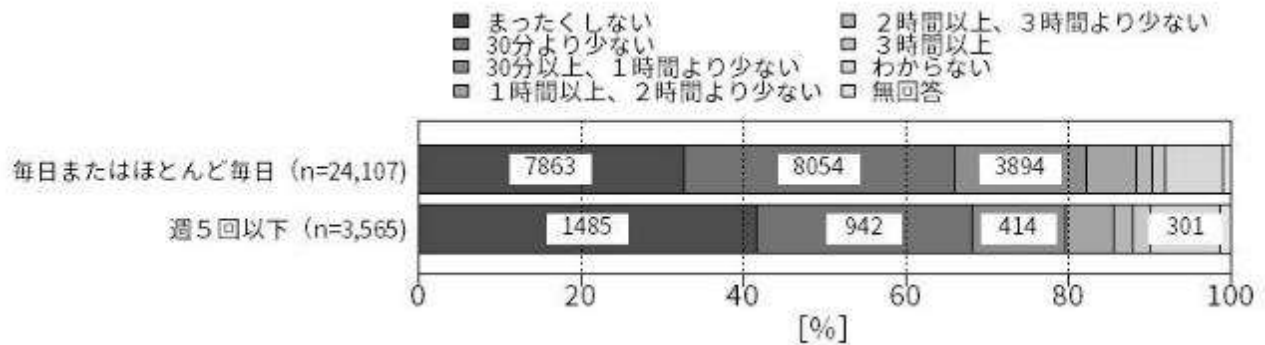


図 230. 起床時間の規則性別に見た、授業以外の読書時間

起床時間の規則性別に授業以外の読書時間を見ると、「同じ時刻には起きていない」子どもでは、「まったくしない」と回答した人は48.5%であった。

<大阪市24区>



<大阪市旭区>

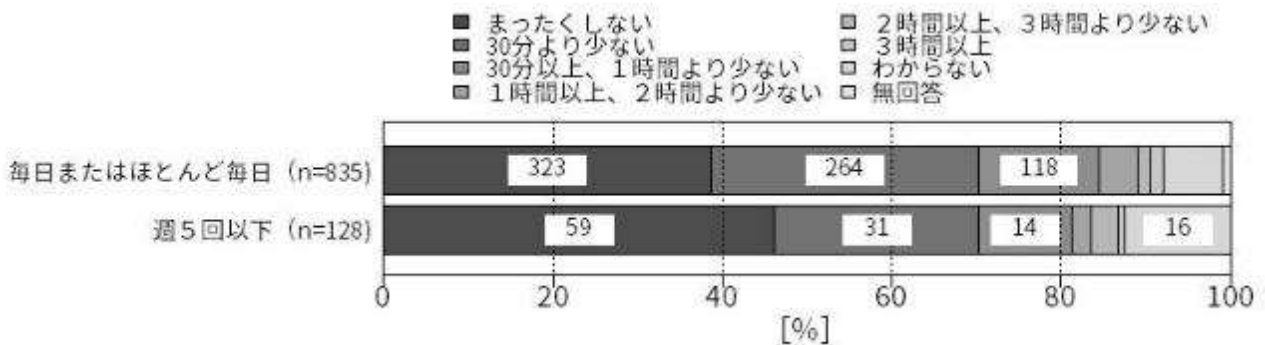


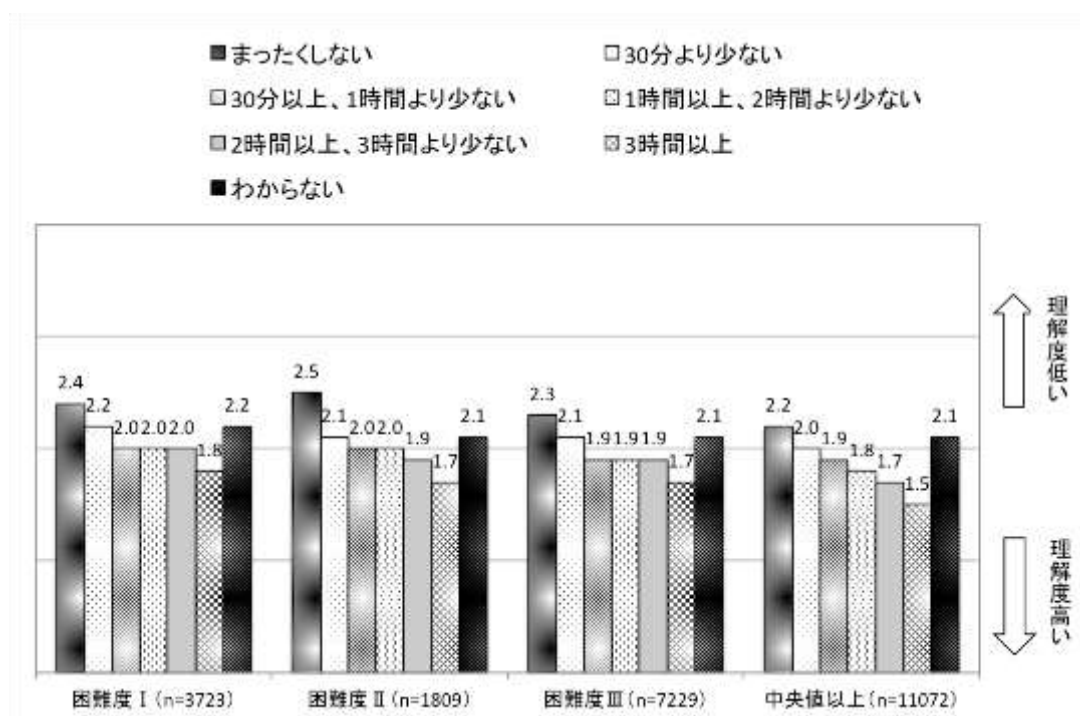
図 231. 朝食の頻度別に見た、授業以外の読書時間

朝食の頻度別に授業以外の読書時間を見ると、「毎日またはほとんど毎日」朝食をとる子どもでは、「まったくしない」と回答したのは38.7%であった。また、同じく「毎日またはほとんど毎日」朝食をとる子どもでは、「30分以上、1時間より少ない」「1時間以上、2時間より少ない」「2時間以上、3時間より少ない」と回答した子どもはそれぞれ14.1%、4.7%、1.4%であった。

困窮度別に見た、授業以外の勉強時間と学習理解度の関連（子ども票 問18）

※学習理解度について、「1. よくわかる」～「4. ほとんどわからない」まで4項目で評定させた。数値が低いほど、学習理解度が高いことを表す。

<大阪市24区>



<大阪市旭区>

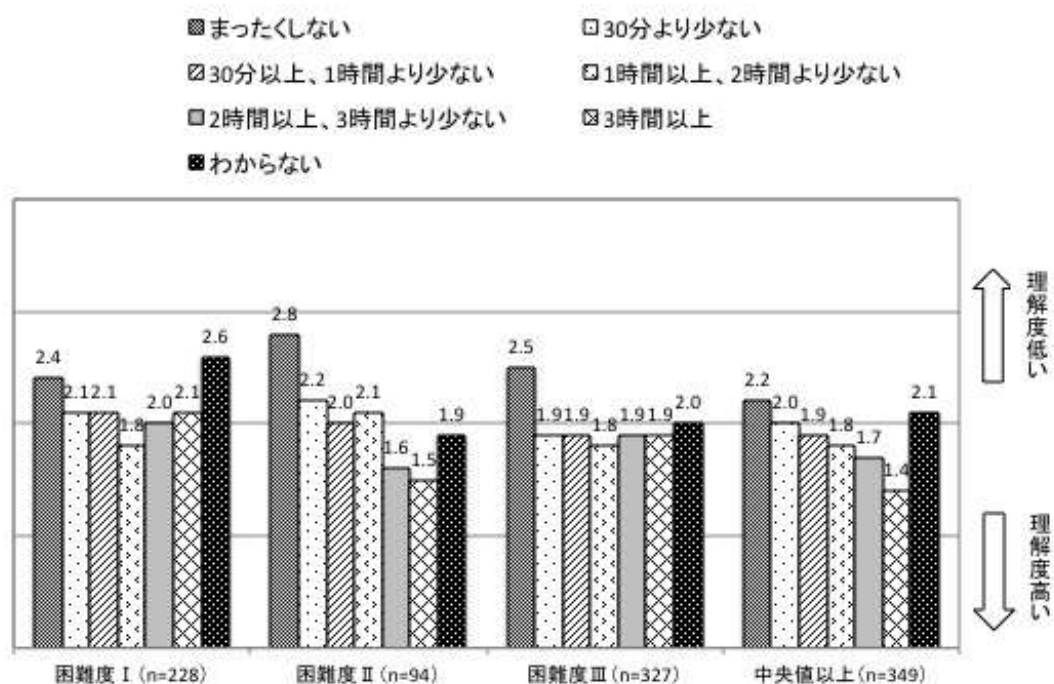


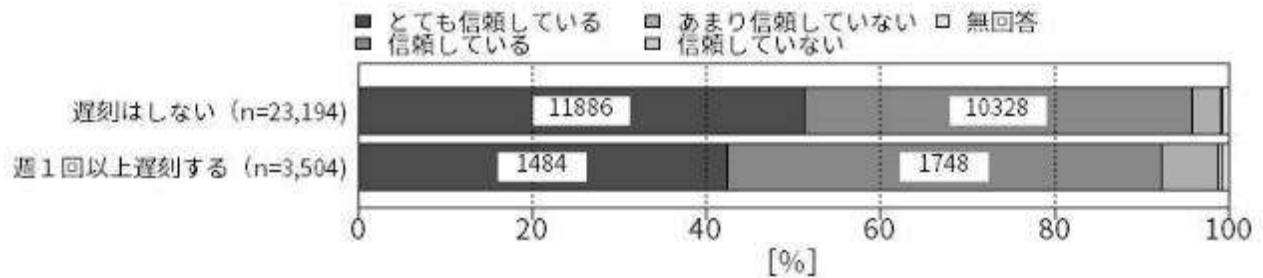
図 232. 困窮度別に見た、授業以外の勉強時間と学習理解度の関連

どの困窮度においても、勉強の理解度が低いほど勉強時間が短かった。

学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもへの信頼度）

（子ども票 問 9 × 保護者票 問 14(1)）

<大阪市 24 区>



<大阪市旭区>

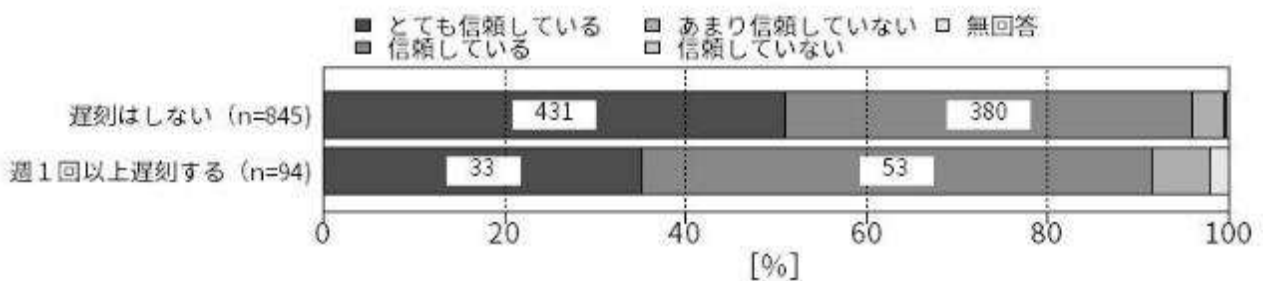


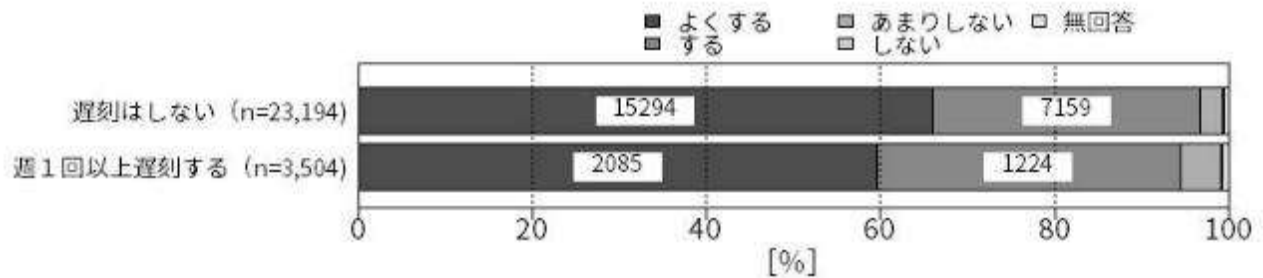
図 233. 学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもへの信頼度）

ここでは、子ども票問 9 において「遅刻はしない」と回答した子どもを「遅刻はしない」、それ以外を選択した子ども（無回答除く）を「週 1 回以上遅刻する」としている。

学校への遅刻別に保護者と子どもの関わり（子どもへの信頼度）を見ると、「遅刻はしない」子どもにおいては、保護者は「とても信頼している」割合が 51.0%であった。

学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもと会話）
 （子ども票 問 9 × 保護者票 問 14(2)）

<大阪市 24 区>



<大阪市旭区>

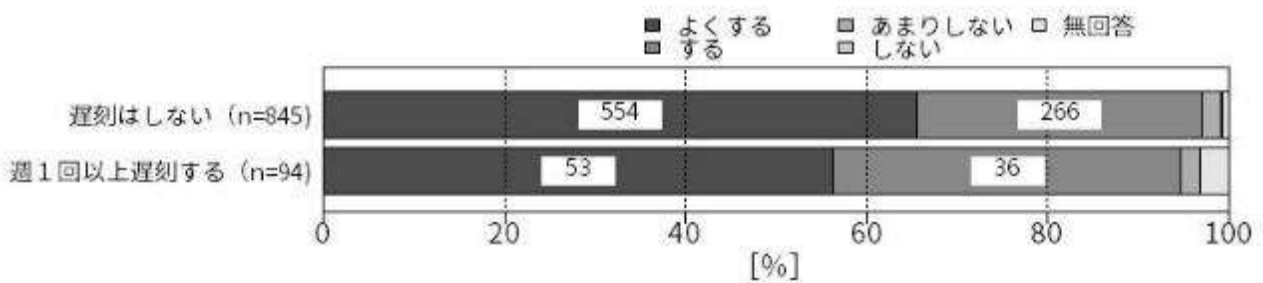
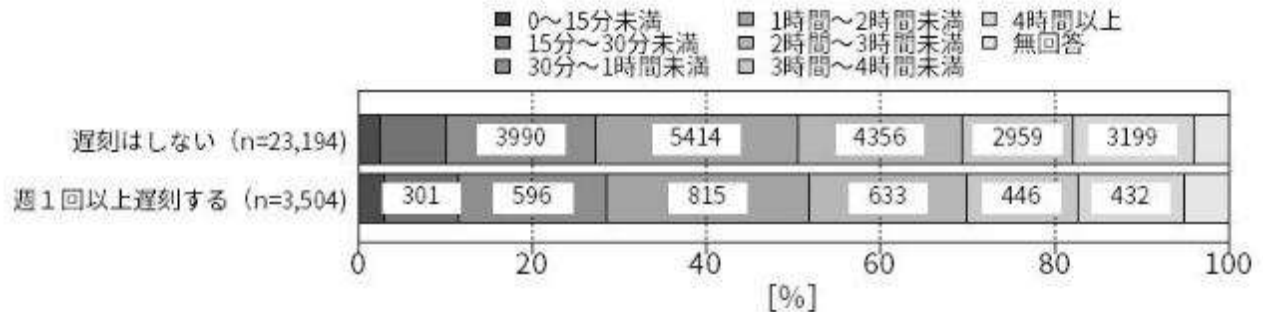


図 234. 学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもと会話）

学校への遅刻別に保護者と子どもの関わり（子どもと会話）を見ると、「遅刻はしない」子どもにおいては、保護者は会話を「よくする」割合が 65.6%であった。

学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもと一緒にいる時間（平日））
 （子ども票 問 9 × 保護者票 問 14(3)）

<大阪市 24 区>



<大阪市旭区>

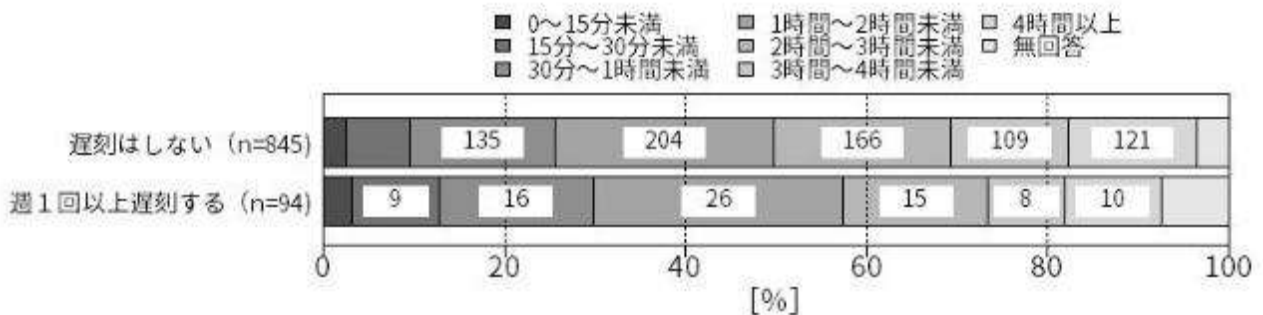


図 235. 学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり
 （子どもと一緒にいる時間（平日））

学校への遅刻別に保護者と子どもの関わり（子どもと一緒にいる時間（平日））を見ると、「遅刻はしない」子どもにおいては、保護者との関わりは「3 時間～4 時間未満」「4 時間以上」の割合がそれぞれ 12.9%、14.3%であった。「週 1 回以上遅刻する」子どもにおいては、「15 分～30 分未満」「0～15 分未満」の割合がそれぞれ 9.6%、3.2%であった。

学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもと一緒にいる時間（休日））
 （子ども票 問 9 × 保護者票 問 14(3)）

<大阪市 24 区>



<大阪市旭区>

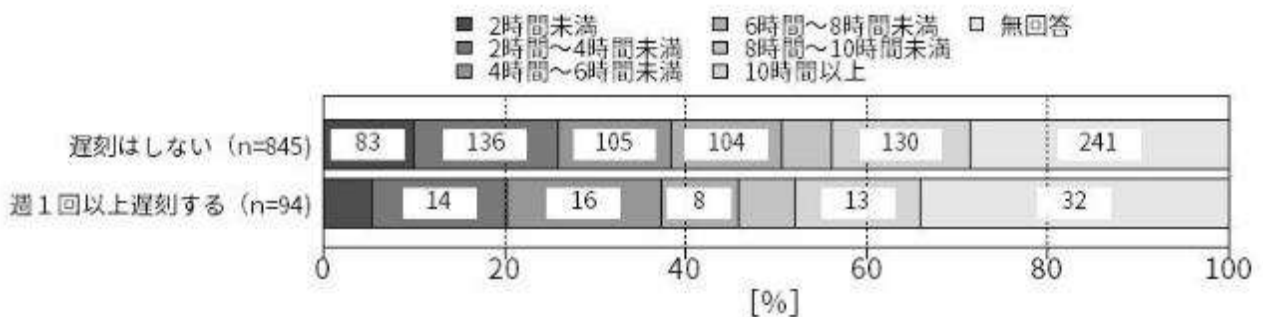
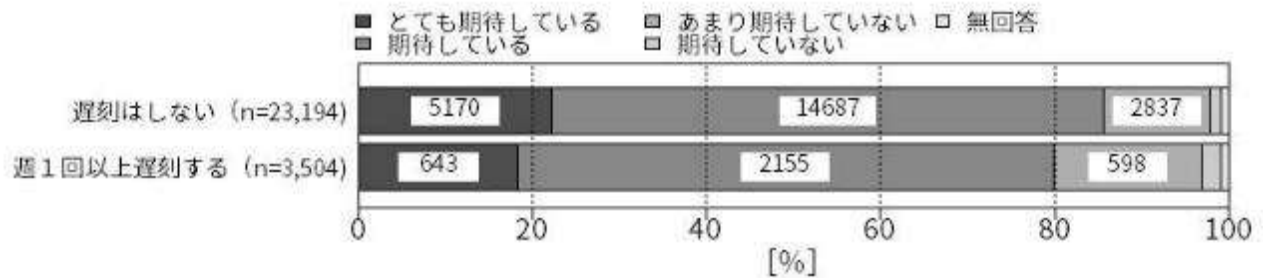


図 236. 学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり
 （子どもと一緒にいる時間（休日））

学校への遅刻別に保護者と子どもの関わり（子どもの一緒にいる時間（休日））を見ると、「遅刻はしない」子どもにおいては、保護者との関わりは「2 時間未満」「2 時間～4 時間未満」「4 時間～6 時間未満」の割合は、それぞれ 9.8%、16.1%、12.4%、であった。「週 1 回以上遅刻する」子どもにおいては、「2 時間未満」「2 時間～4 時間未満」「4 時間～6 時間未満」の割合は、それぞれ 5.3%、14.9%、17.0%であった。また、いずれも無回答の割合が高かった。

学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもへの将来の期待）
 （子ども票 問 9 × 保護者票 問 14(4)）

<大阪市 24 区>



<大阪市旭区>

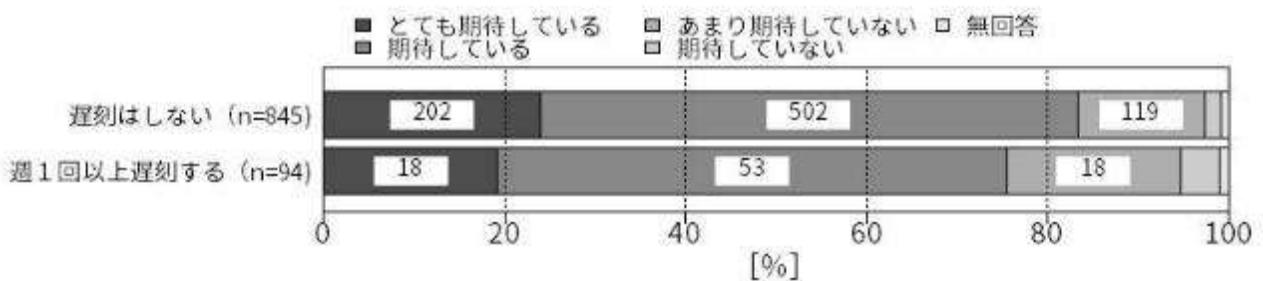
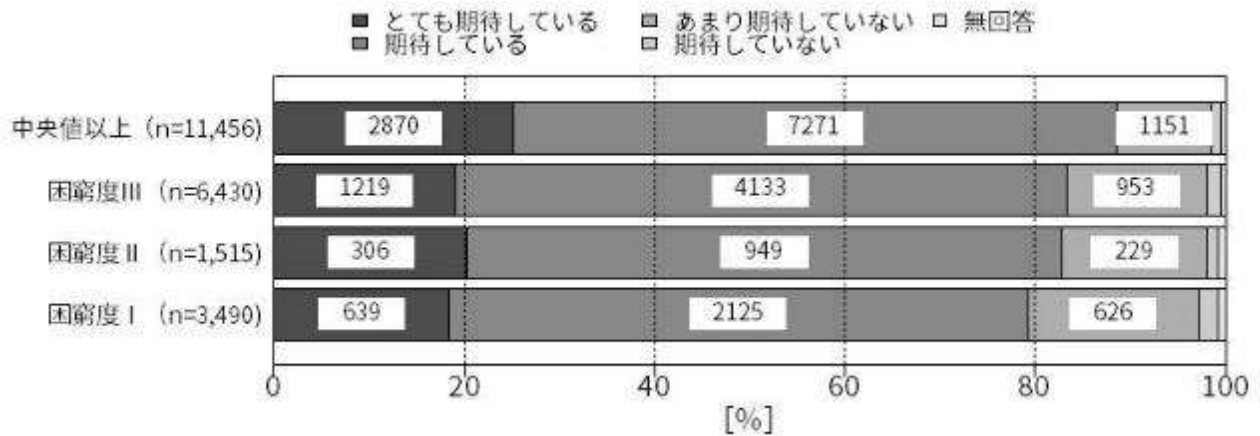


図 237. 学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもへの将来の期待）

学校への遅刻別に保護者と子どもの関わり（子どもへの将来の期待）を見ると、「遅刻はしない」子どもにおいては、保護者は子どもの将来に「とても期待している」割合は、23.9%であった。「週1回以上遅刻する」子どもにおいては、19.1%であった。

困窮度別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもへの将来の期待）
（保護者票 問 14(4)）

<大阪市 24 区>



<大阪市旭区>

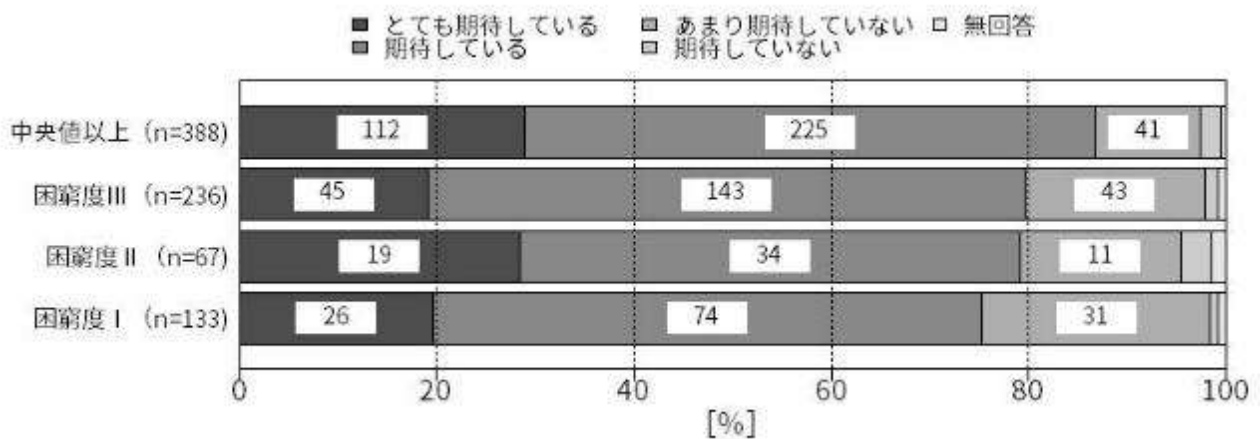
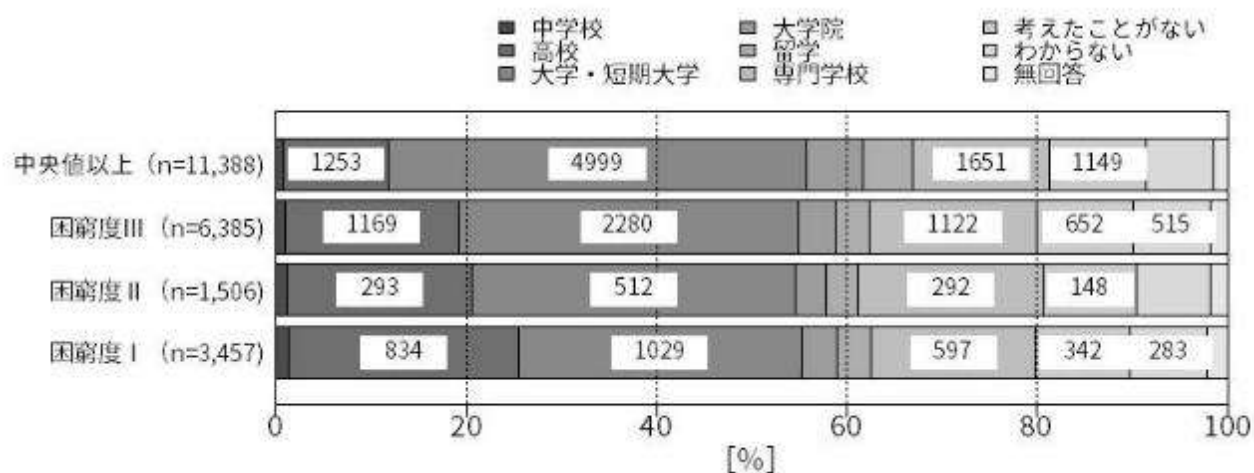


図 238. 困窮度別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもへの将来の期待）

困窮度別に保護者と子どもの関わり（子どもへの将来の期待）を見ると、困窮度Ⅰ群では、「あまり期待していない」「期待していない」を合計すると 24.1%であった。

困窮度別に見た、希望する進学先（子ども票 問 27）

<大阪市 24 区>



<大阪市旭区>

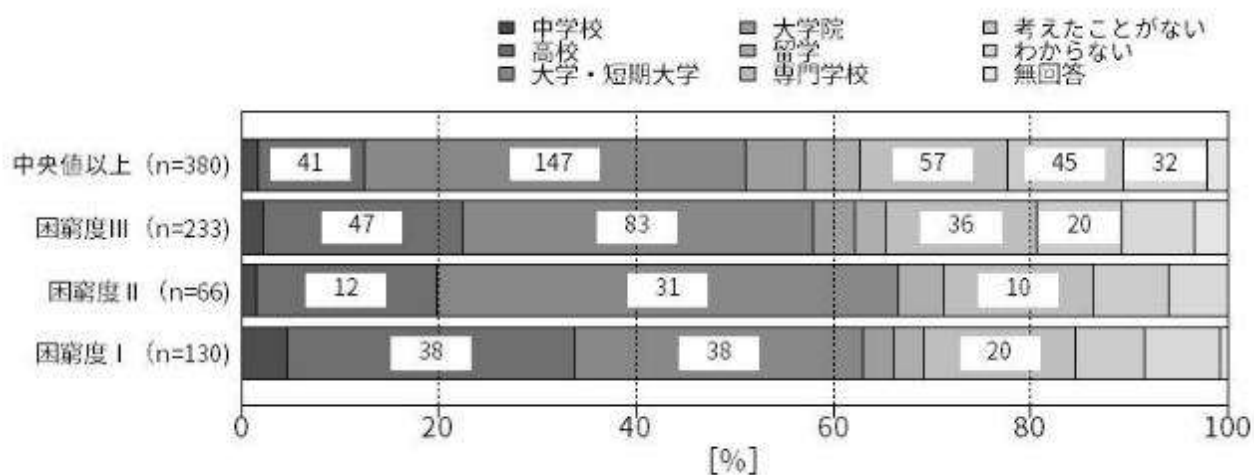
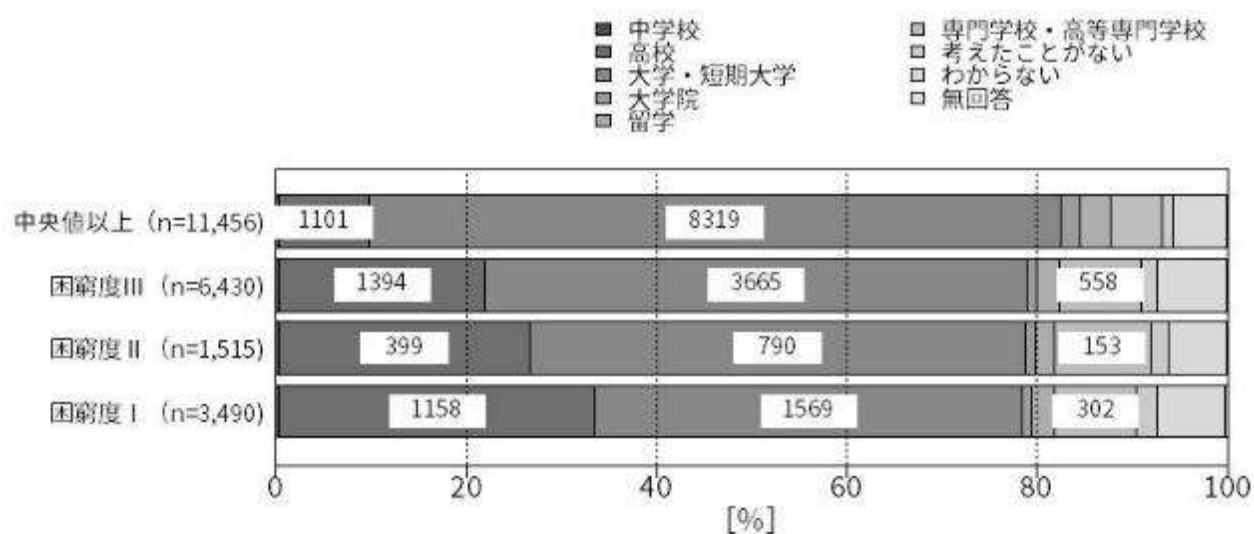


図 239. 困窮度別に見た、希望する進学先

困窮度別に子どもの希望する進学先を見ると、困窮度Ⅰ群では、「中学校」「高校」と回答した子どもは合計 33.8%、「専門学校」と回答した子どもは 15.4%であった。中央値以上群において「大学・短期大学」と回答した割合は、38.7%であった。

困窮度別に見た、子どもの進学予測（保護者票 問 15）

<大阪市 24 区>



<大阪市旭区>

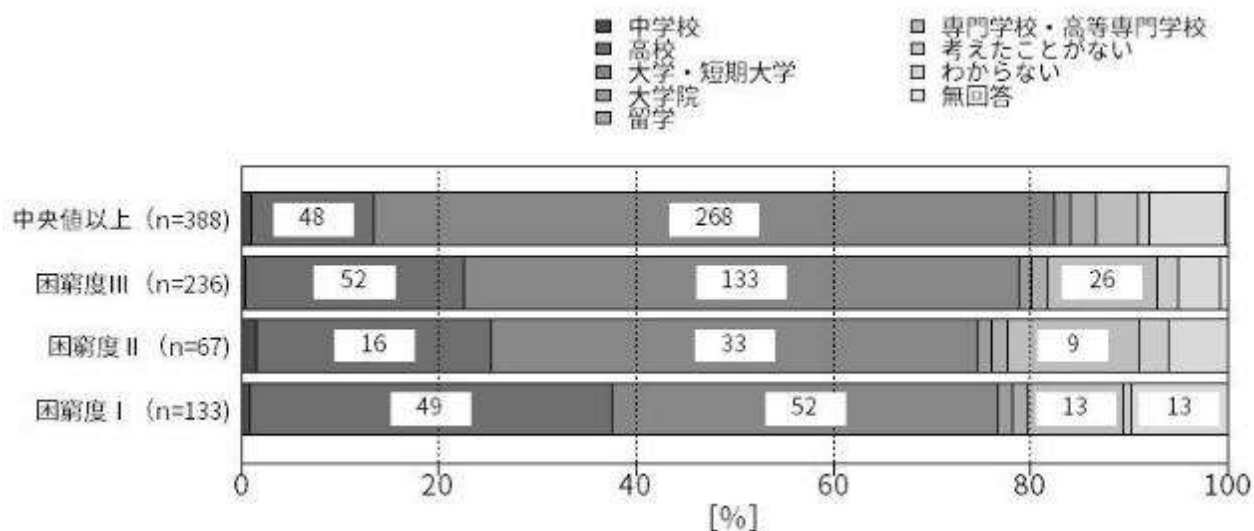
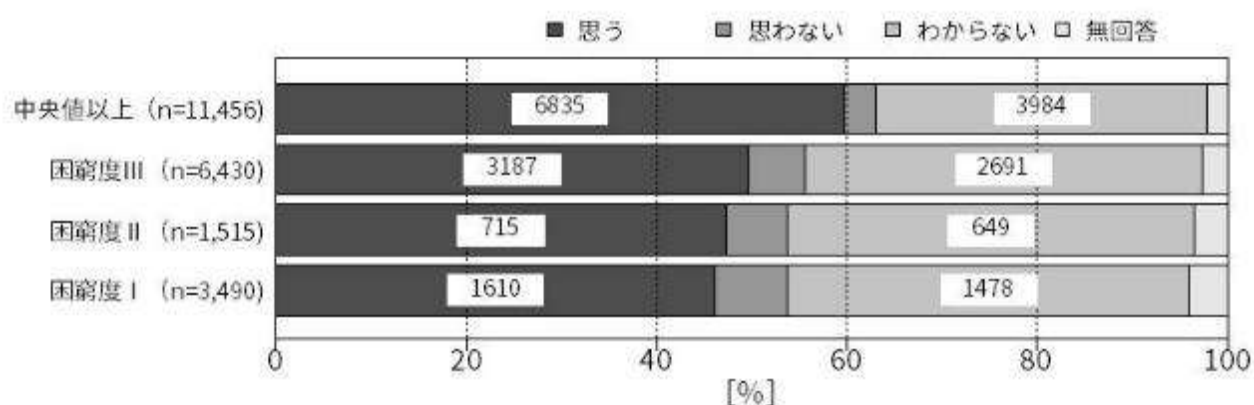


図 240. 困窮度別に見た、子どもの進学予測

困窮度別に子どもの進学予測（保護者による）を見ると、困窮度が高まるにつれ、高校卒業までと回答した子どもの割合が高くなっている。困窮度Ⅰ群では、「中学校」「高校」と回答した人は合計 37.6%、「専門学校」と回答した人は 9.8%であった。中央値以上群において「大学・短期大学」と回答した割合は、69.1%であった。

困窮度別に見た、子どもの進学達成予測（保護者票 問 16）

<大阪市 24 区>



<大阪市旭区>

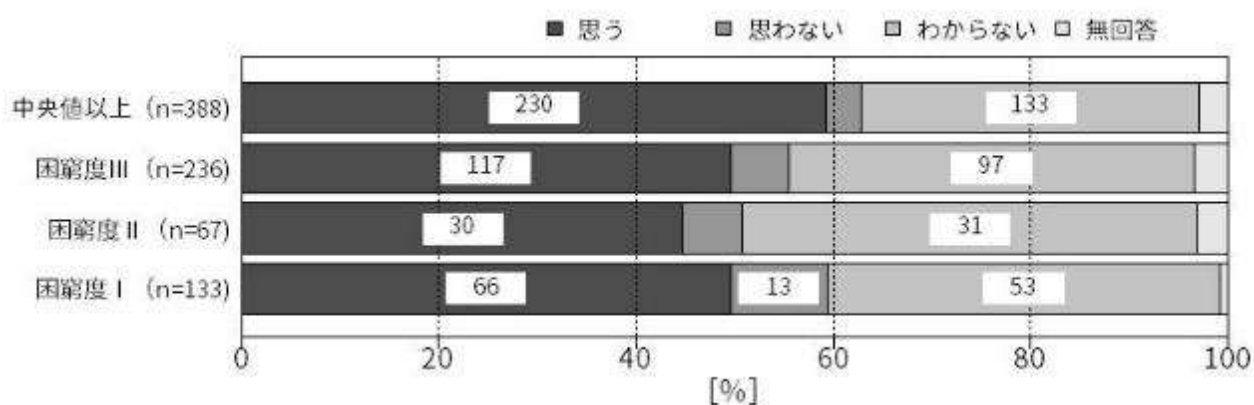
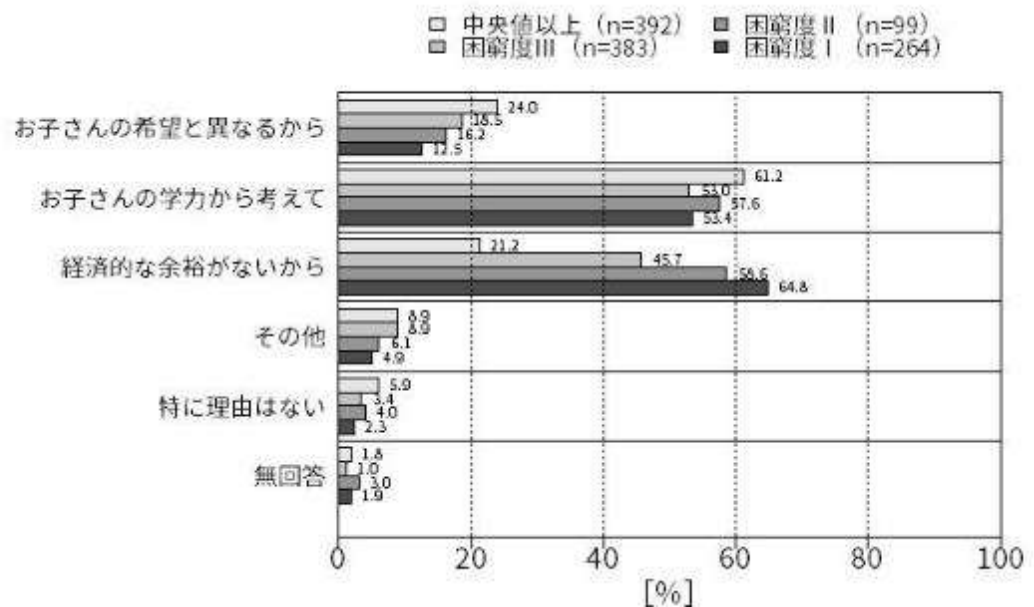


図 241. 困窮度別に見た、子どもの進学達成予測

困窮度別に子どもの進学達成予測（保護者による）を見ると、困窮度が高まるにつれ、「思わない」と回答した保護者の割合が高くなっている。困窮度Ⅰ群では、「思わない」と回答した人は合計 9.8%であった。中央値以上群において「思う」と回答した割合は 59.3%であった。

困窮度別に見た、子どもの進学達成「思わない」理由（保護者票 問 17）

<大阪市 24 区>



<大阪市旭区>

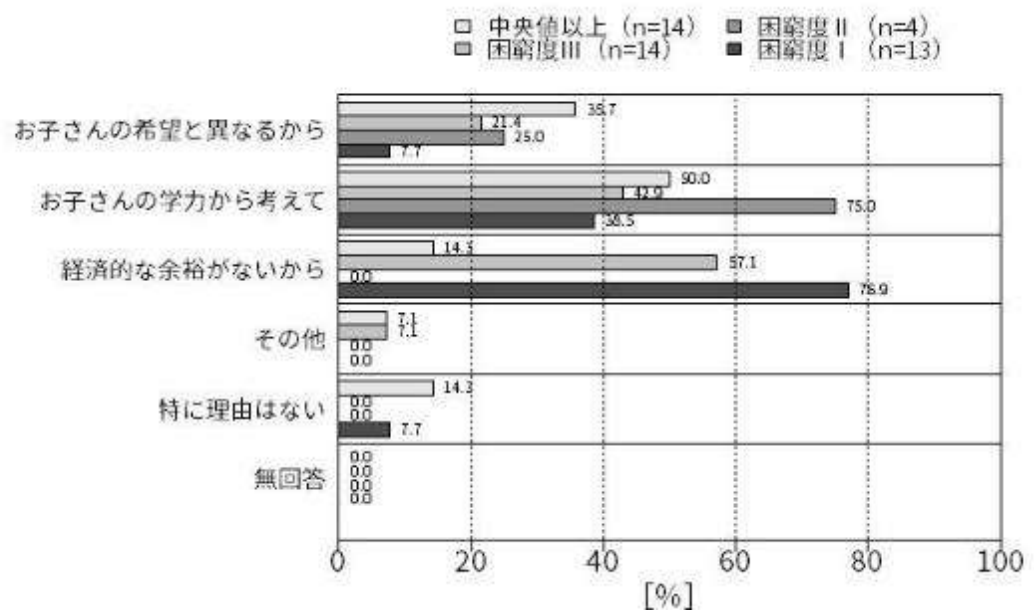
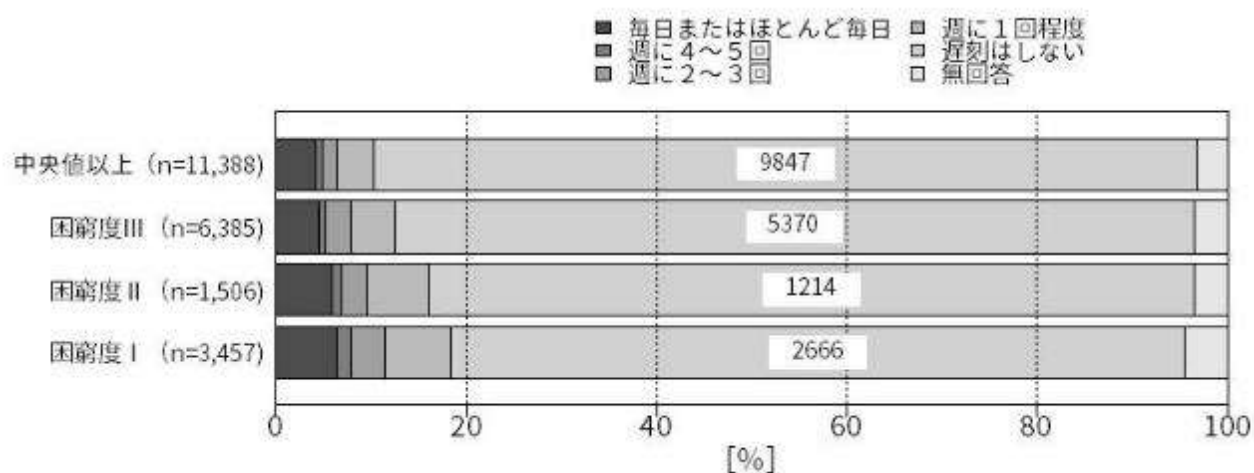


図 242. 困窮度別に見た、子どもの進学達成「思わない」理由

困窮度別に子どもの進学達成「思わない」理由（保護者による）を見ると、中央値以上群では「お子さんの希望と異なるから」という理由が最も多く、困窮度Ⅰ群では「経済的な余裕がないから」という理由が最も多くなっている。困窮度Ⅰ群において「経済的な余裕がないから」と回答した人は76.9%であった。

困窮度別に見た、学校への遅刻（子ども票 問9）

<大阪市 24 区>



<大阪市旭区>

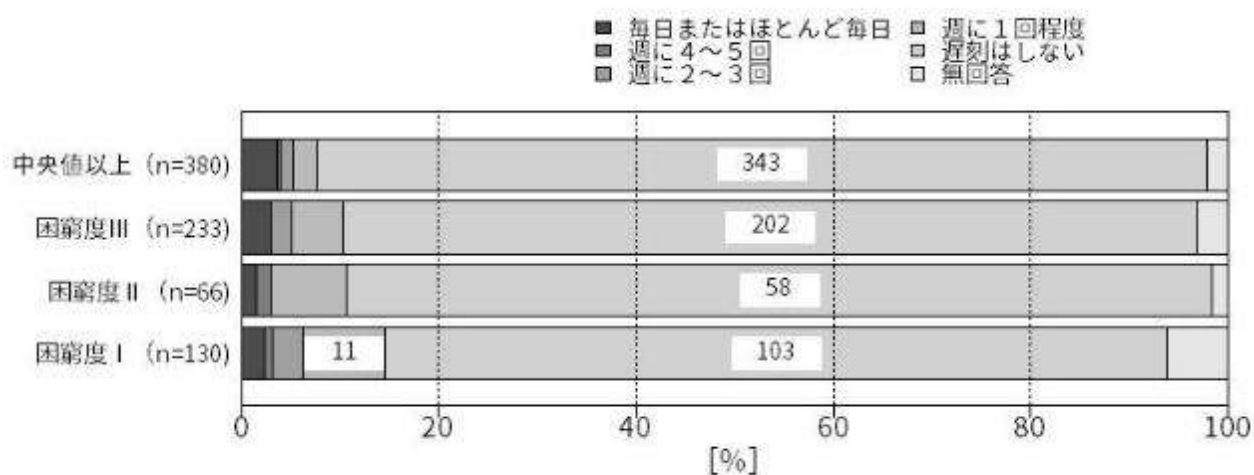
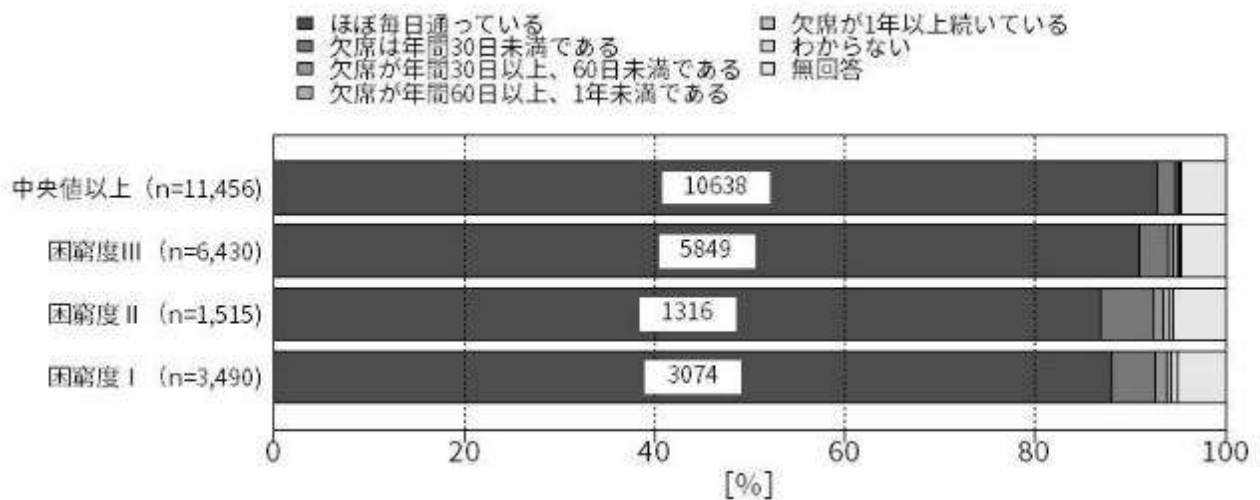


図 243. 困窮度別に見た、学校への遅刻

困窮度別に学校への遅刻を見ると、困窮度が高まるにつれ、週に1回以上遅刻をする子どもの割合が増える傾向にある。困窮度Ⅰ群では、週に1回以上遅刻をする割合は14.6%であった。

困窮度別に見た、子どもの通学状況（保護者票 問 21）

<大阪市 24 区>



<大阪市旭区>

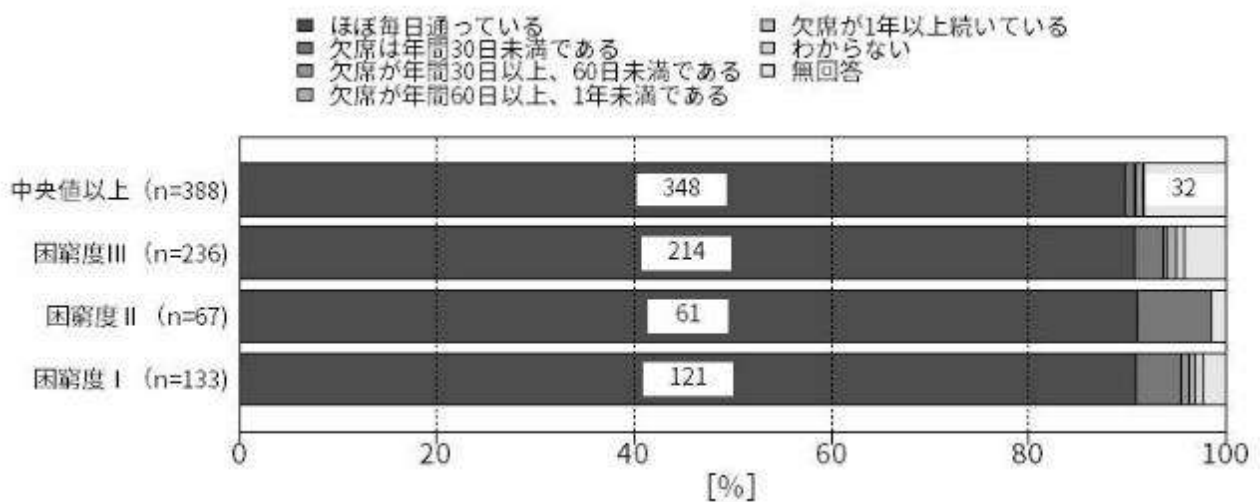


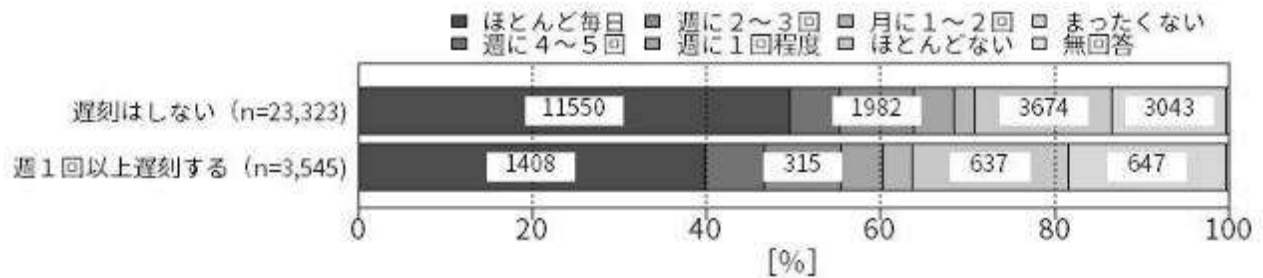
図 244. 困窮度別に見た、子どもの通学状況

困窮度別に子どもの通学状況を見ると、中央値以上群と困窮度Ⅰ群では、年間30日以上欠席している割合はそれぞれ、0.8%、1.5%であった。

学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり

(おうちの大人と朝食を食べるか) (子ども票 問9 × 子ども票 問10①)

<大阪市24区>



<大阪市旭区>

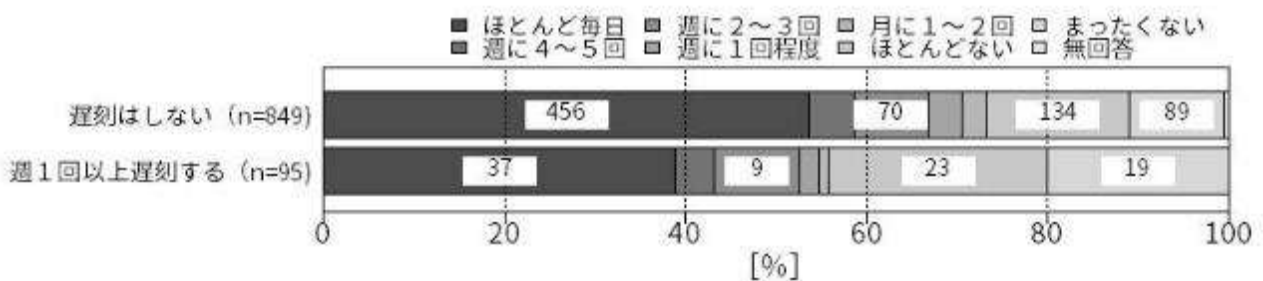


図 245. 学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり
(おうちの大人と朝食を食べるか)

学校への遅刻別に保護者と子どもの関わり（おうちの大人と朝食を食べるか）を見ると、「週1回以上遅刻する」子どもは、「ほとんど毎日」と回答した割合が38.9%であった。また、「ほとんどない」「まったくない」と回答した割合が高く、合計すると44.2%であった。

学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり

(おうちの大人と夕食を食べるか) (子ども票 問9 × 子ども票 問10②)

<大阪市24区>



<大阪市旭区>

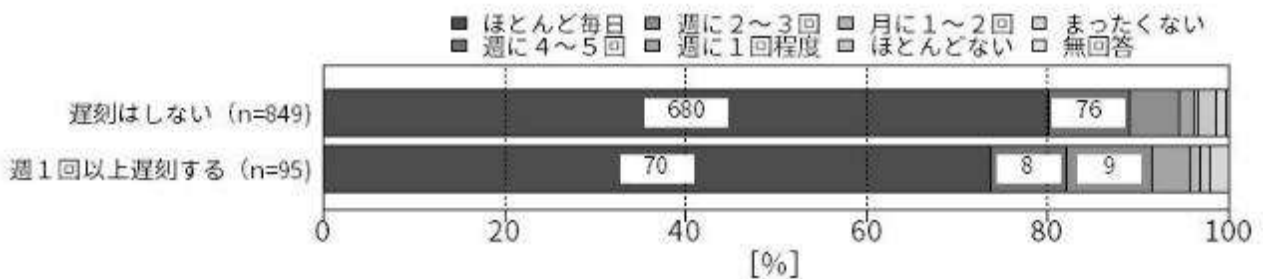


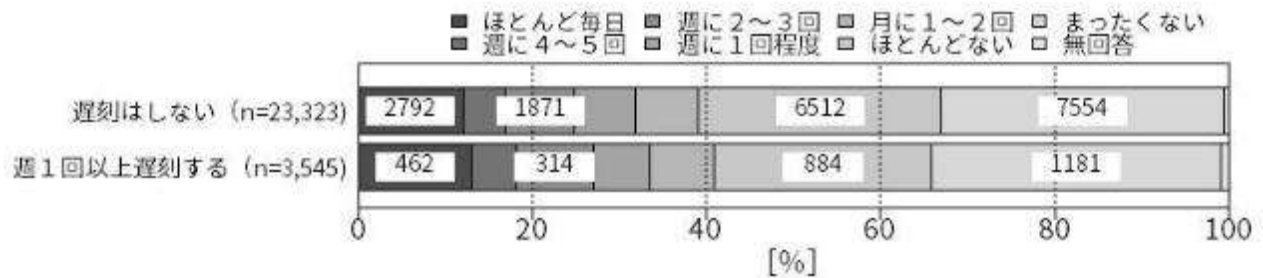
図 246. 学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり
(おうちの大人と夕食を食べるか)

学校への遅刻別に保護者と子どもの関わり（おうちの大人と夕食を食べるか）を見ると、「週1回以上遅刻する」子どもは、「ほとんど毎日」と回答した割合が73.7%であった。また、「ほとんどない」「まったくない」と回答した割合が高く、合計すると3.2%であった。

学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり

(おうちの大人に宿題をみてもらうか) (子ども票 問9 × 子ども票 問10⑤)

<大阪市24区>



<大阪市旭区>

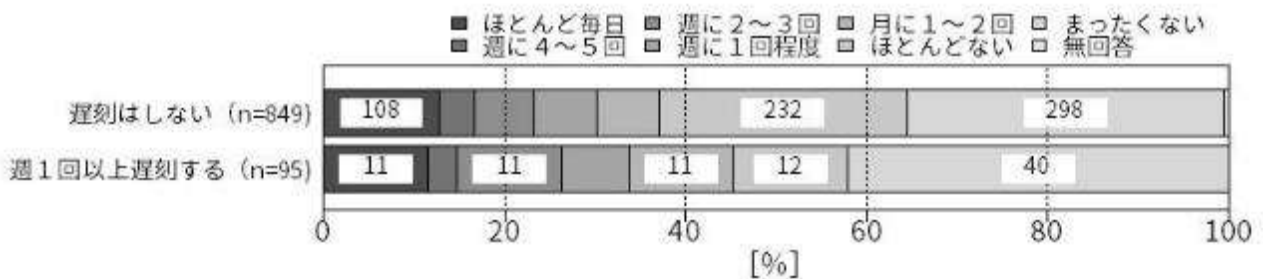


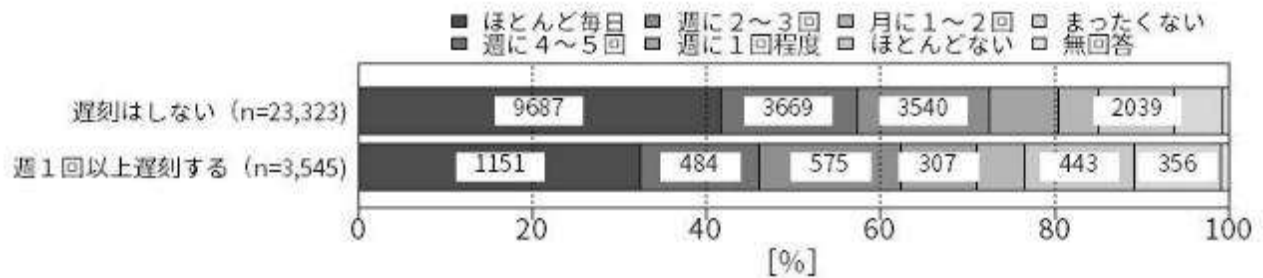
図 247. 学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり
(おうちの大人に宿題をみてもらうか)

学校への遅刻別に保護者と子どもの関わり（おうちの大人に宿題をみてもらうか）を見ると、「週1回以上遅刻する」子どもは、「ほとんどない」「まったくない」と回答した割合は合計すると54.7%であった。

学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり

(おうちの大人と学校の話をするか) (子ども票 問9 × 子ども票 問10⑥)

<大阪市24区>



<大阪市旭区>

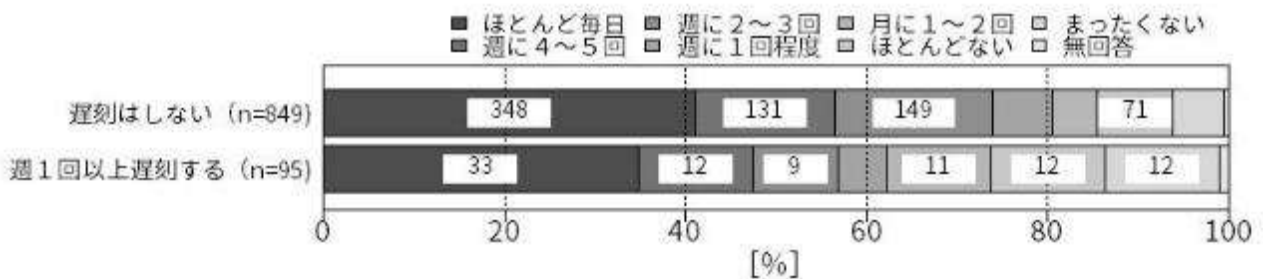


図 248. 学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり
(おうちの大人と学校の話をするか)

学校への遅刻別に保護者と子どもの関わり（おうちの大人と学校の話をするか）を見ると、「週1回以上遅刻する」子どもは、「ほとんどない」「まったくない」と回答した割合は合計すると25.3%であった。

学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり

(おうちの大人と遊んだり、体を動かすか) (子ども票 問9 × 子ども票 問10⑦)

<大阪市24区>



<大阪市旭区>

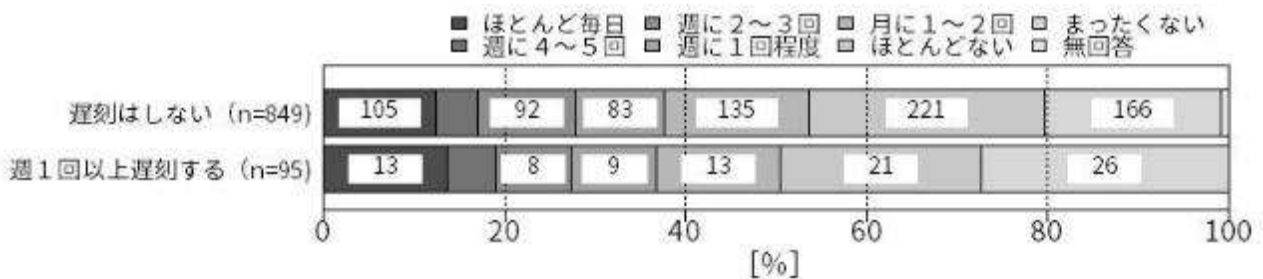


図 249. 学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり
(おうちの大人と遊んだり、体を動かすか)

学校への遅刻別に保護者と子どもの関わり（おうちの大人と遊んだり、体を動かすか）を見ると、「週1回以上遅刻する」子どもは、「まったくない」と回答した割合が27.4%であった。

学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり

(おうちの大人と社会のできごとを話すか) (子ども票 問9 × 子ども票 問10⑧)

<大阪市24区>



<大阪市旭区>

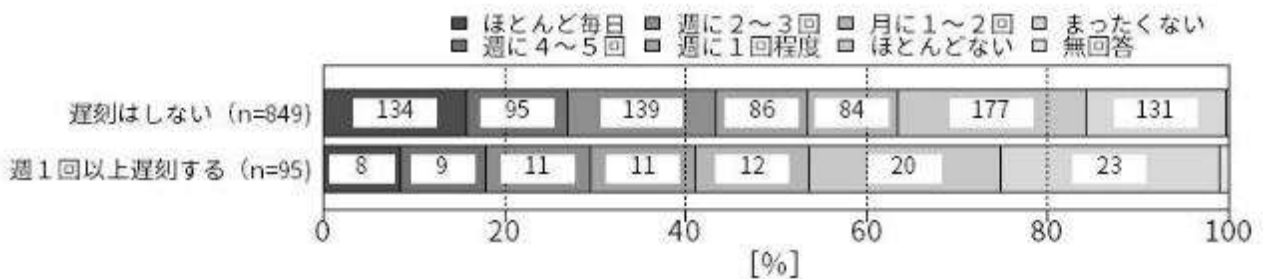


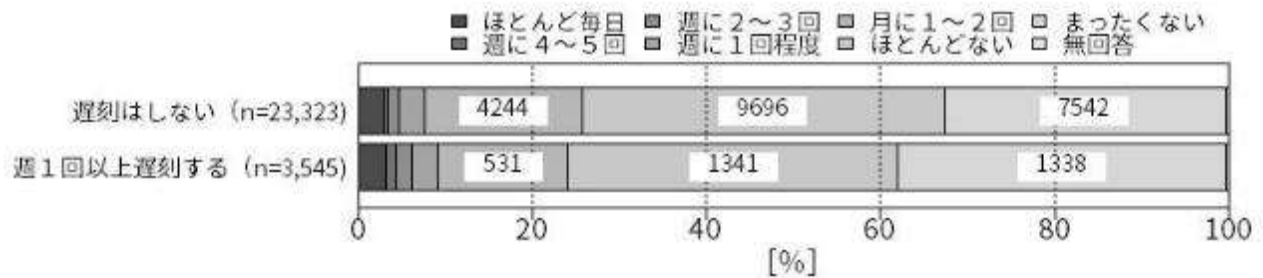
図 250. 学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり
(おうちの大人と社会のできごとを話すか)

学校への遅刻別に保護者と子どもの関わり（おうちの大人と社会のできごとを話すか）を見ると、「週1回以上遅刻する」子どもは、「まったくない」と回答した割合が24.2%であった。

学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり

(おうちの大人と文化活動をするか) (子ども票 問9 × 子ども票 問10㉑)

<大阪市24区>



<大阪市旭区>

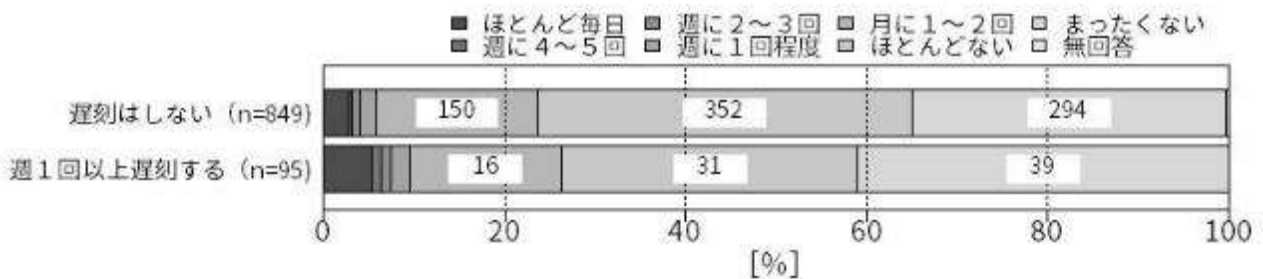


図 251. 学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり
(おうちの大人と文化活動をするか)

学校への遅刻別に保護者と子どもの関わり（おうちの大人と文化活動をするか）を見ると、「週1回以上遅刻する」子どもは、「まったくない」と回答した割合が41.1%であった。